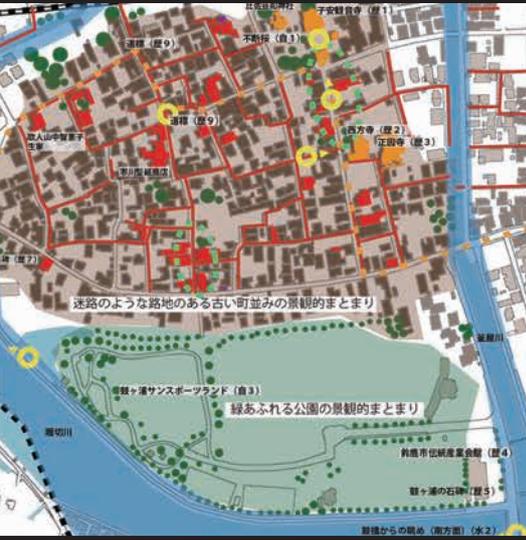


海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014



2015年3月

はじめに

本報告書は白子公民館と三重大学都市計画研究室との共同研究である「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン 2014」の成果を取りまとめたものである。本共同研究は今年度で3年目であり、2012年度には「海・街道・史跡を活かした白子のまちづくりのための92のアイデア集」を取りまとめ、2013年度には、1) まち歩きマップの制作、2) いくつかのアイデアを実験的に実施するためのイベント「白子街道ウォーク 2013」の企画・実施を行った。今年度は、これらの成果を踏まえた上で新たに「景観」をテーマに設定し、寺家地区・白子地区・江島地区の景観資源マップを制作した。白子には、自然景観・都市景観・歴史景観など多様な地域景観資源が存在する一方で、これらの地域景観資源がなくなりつつある現状にある。貴重な地域景観資源を守っていくためには、市民による地域景観資源の共有が重要となる。本共同研究では、市民・大学・行政が連携し、まち歩きにより地域景観資源を再確認・発見し、それらを景観資源マップとして取りまとめることにより、地域景観資源の共有化を図ることを狙いとした。

全7回のまちづくり講座により、3地区のまち歩きを踏まえて、3地区の景観資源マップを製作することができた。今年度は、オブザーバーとして鈴鹿市の景観計画を担当する鈴鹿市都市整備部都市計画課の方々にご参加いただき、成果物である3地区の景観資源マップの印刷にご協力頂いた。鈴鹿市には、市民主体による地区別景観づくり計画を策定する仕組みがあり、本まちづくり講座で製作した景観資源マップが白子における地区別景観づくり計画を策定する際の足がかりになれば幸いである。最後に、本まちづくり講座に参加して頂いた鈴鹿市民の皆さんをはじめとして、本まちづくり講座に関わった全ての皆さんに心から御礼を申し上げたい。

2015年3月

三重大学大学院工学研究科建築学専攻・助教 松浦健治郎

【調査研究組織】

白子公民館

杉谷 哲也
川北 智子
末松 ひとみ

三重大学大学院工学研究科建築学専攻都市計画研究室

総括 松浦 健治郎 三重大学大学院工学研究科建築学専攻・助教
市原 享典 三重大学大学院工学研究科建築学専攻・博士前期課程1年
中島 有紀子 同上
大河原 章介 三重大学工学部建築学科・4年
小笠原 舜 同上
菊池 玲子 同上
西川 由悟 同上
松岡 美歩 同上

【まちづくり講座参加者（継承略、50音順）】

飯場 道雄	大河内 康由	岡本 礼子	小川 きぬ	沖 美幸	小田切 靖雄
角谷 弘子	喜多 常	北村 理	紀平 真美	後藤 淑子	斎藤 富茂
佐藤 邦雄	清水 重久	城野 高潔	館 日出子	達知 淳三	豊田 誠司
西根 征生	野村 磨梨杏	長谷川 徹	平田 一道	平野 憲一	松島 正義
松田 徳夫	宮崎 千枝子	宮地 壇子	宮原 義治	横田 美喜子	和田 弘

(合計 30 名)

オブザーバー : 西野 耕治・草野 奈津紀 (鈴鹿市都市整備部都市計画課)

【報告書作成】

全体構成・全体編集 : 松浦 健治郎

【景観資源マップ製作】

全体構成・全体編集 : 松浦 健治郎 ・ 市原 享典 ・ 中島 有紀子

【付録 DVD 製作】

DVD 製作 : 松浦 健治郎

ナレーション : 中島 有紀子

目 次

1. まちづくり講座の概要	5
(1) 活動経過の概要	7
(2) 第1回まちづくり講座.....	8
(3) 第2回まちづくり講座.....	9
(4) 第3回まちづくり講座.....	17
(5) 第4回まちづくり講座.....	22
(6) 第5回まちづくり講座.....	27
(7) 第6回まちづくり講座.....	32
(8) 第7回まちづくり講座.....	40
2. 景観資源マップ	51
(1) 寺家地区の景観資源マップ.....	53
(2) 白子地区の景観資源マップ.....	61
(3) 江島地区の景観資源マップ.....	69



1. まちづくり講座等の概要

(1) 活動経過の概要

今年度のまちづくり講座の目的は、白子の地域景観資源の共有のための景観資源マップの制作である。今年度のまちづくり講座のプログラムを振り返ってみよう（図1）。5月には、昨年度の振り返りとして、昨年度の記録ムービーを観て頂いた後、景観まちづくりの基礎的な知識を共有していただくために、松浦助教から「景観まちづくりとは」の講演があった後、鈴鹿市都市整備部都市計画課の西野さんから鈴鹿市景観計画の紹介があった。6月には、白子を3つの地区（寺家・白子・江島）に分けて3つのグループ毎に景観資源分析地図を作成した。7月から9月にかけて、3つの地区のまち歩きにより景観資源の再確認・発見を行った。10月には三重大学都市計画研究室によりこれまでの成果を踏まえて3地区の景観資源マップ案を制作し、11月には、景観資源マップ案の発表及び修正意見を検討した。12月は修正意見を基にして三重大学都市計画研究室が景観資源マップ修正案を制作し、1月に景観資源マップ修正案の発表をした後に修正意見の検討、景観まちづくりをすすめるための課題を検討した。2月には修正意見を基にして三重大学都市計画研究室が景観資源マップを制作した。まちづくり講座の参加者の内訳は、公民館を利用する地域住民、三重県職員、短大の学生などで合計約30名である。

2014年									2015年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/15 第1回まちづくり講座 ・昨年度の振り返り ・今年度の取り組みのガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 6/19 第2回まちづくり講座 ・景観分析図の作成 ・守るべき景観のリストアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 7/23 第3回まちづくり講座 ・まち歩き1（寺家方面） ・景観資源の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 8/21 第4回まちづくり講座 ・まち歩き2（白子方面） ・景観資源の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 9/30 第5回まちづくり講座 ・まち歩き3（江島方面） ・景観資源の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 11/26 第6回まちづくり講座 ・景観資源マップ案の発表 ・修正意見の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/14 第7回まちづくり講座 ・景観資源マップ修正案の発表 ・修正意見の検討 ・景観まちづくりを進めていくための課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書の作成 			
			まち歩き			景観資源マップ案の制作	景観資源マップ修正案の制作	景観資源マップの制作			

図1：白子まちづくり講座のスケジュール

(2) 第1回まちづくり講座

日時：2014年5月15日(木)14:00～16:00

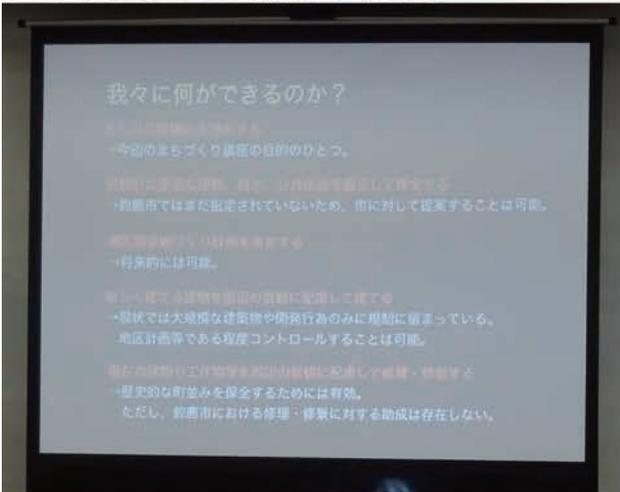
場所：白子公民館

内容：昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス

参加者数：23名

まちづくり講座の概要：まず、昨年度の振り返りについて、「白子まちづくり講座2013の記録」活動紹介ムービー(13:39)の上映があった。その後、松浦助教より「景観まちづくりとは」と題した今年度の取り組みのガイダンス及び鈴鹿市都市整備部都市計画課の西野さんから鈴鹿市景観計画の紹介があった。

第1回まちづくり講座の風景写真



(3) 第2回まちづくり講座

日時：2014年6月19日(木)14:00～16:00

場所：白子公民館

内容：景観分析図の作成、守るべき景観のリストアップ

参加者数：25名

まちづくり講座の概要：3地区（寺家・白子・江島）のグループに分かれて景観資源分析地図を作成した。具体的には、まず、緑の分布・道路の交差点の分析を行った。次に、景観のまとまりを検討した。その後、景観的に重要な場所を検討した。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

第2回まちづくり講座の風景写真



寺家地区チームの検討結果

寺家地区：景観のまとまりを検討するためのキーワード

歴史・文化

<迷路状の路地のある古い街並み>

- ・迷路みたいな道
- ・散歩中、自分の思っている所に出られない程、複雑な道です
- ・寺家の古い街並み
- ・歴史的町並み
- ・赤道（迷路）多い街

<寺社>

- ・お寺
- ・子安観音寺
- ・子安観音寺の境内
- ・不断桜
- ・子安観音
- ・子安観音寺の景観

<文化施設ゾーン>

- ・風情ある伝統産業会館
- ・伝統産業会館案内

自然

<海岸沿い>

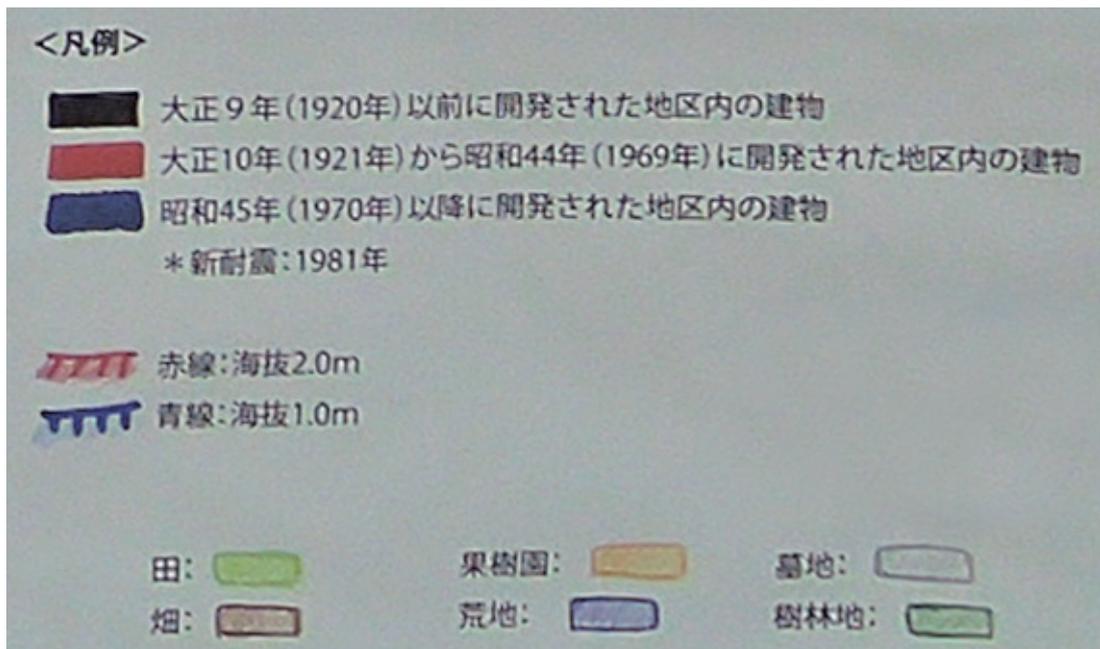
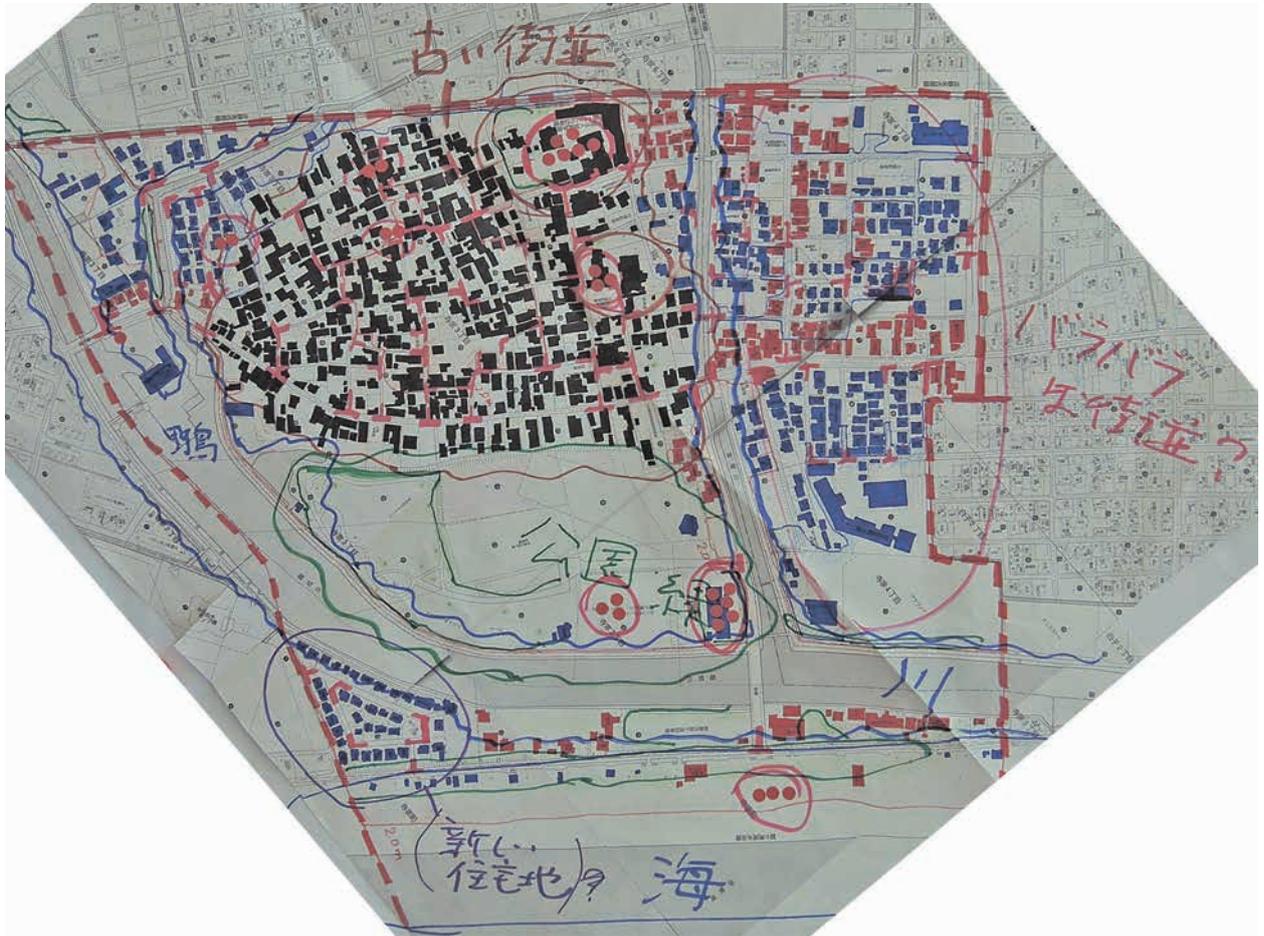
- ・白砂青松の海岸
- ・海岸沿い
- ・鼓ヶ浦海岸の白砂青松
- ・白砂青松の海岸

<緑豊かな公園>

- ・サンスポーツランド
- ・鼓ヶ浦サンスポーツランド
- ・スポーツ、散歩、つどいの街
- ・サンスポーツランドの緑豊かな広場

<川沿い>

- ・堀切川干潟の野鳥の群れ



白子地区チームの検討結果

白子地区：景観のまとまりを検討するためのキーワード

歴史・文化

<寺社>

- ・お寺
- ・林昌寺
- ・林昌寺の景観（桜）
- ・龍源寺
- ・龍源寺の景観（竹林）
- ・神社
- ・久留間神社
- ・愛宕神社

<施設ゾーン>

- ・伊勢型紙資料館
- ・伊勢型紙資料館の寺尾家の屋敷
- ・河芸群役所跡
- ・老舗の和菓子屋

<古い路地と街並み>

- ・旧伊勢街道を中心とした古い路地
- ・その路地周辺に残る古い街並み →街並みは点々とし消えつつある

自然

<海岸沿い>

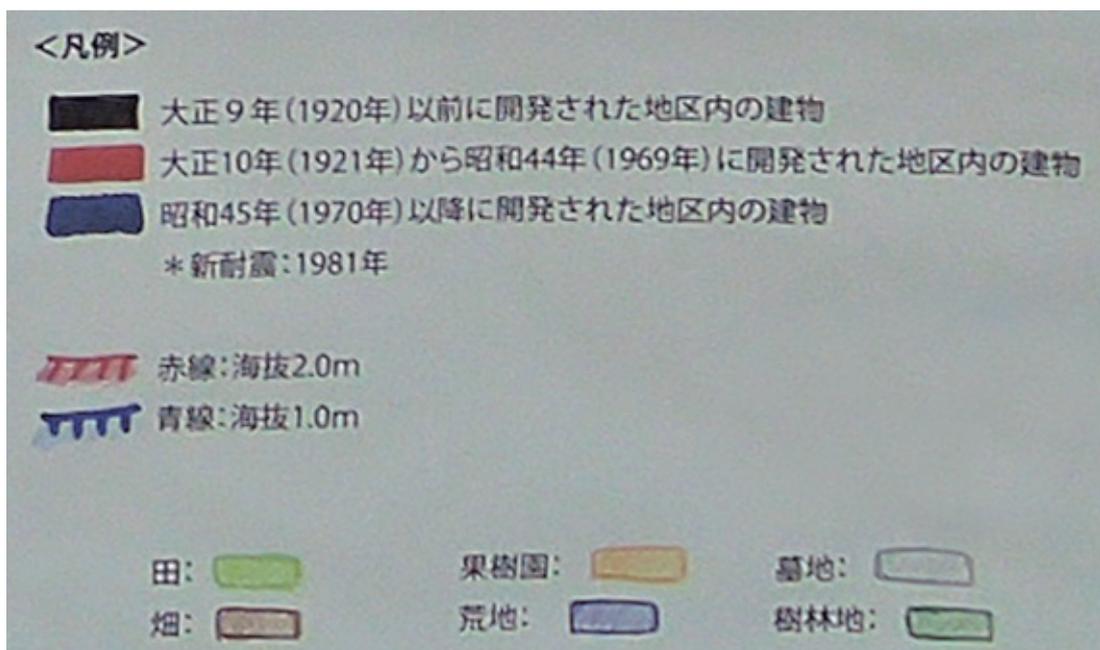
- ・白子港
- ・海岸沿い
- ・水産技術センター
- ・養殖場や加工場
- ・小女子干し

<緑>

- ・白子港公園
- ・寺社周辺の木々

<川沿い>

- ・紅屋橋からの川の眺め



江島地区チームの検討結果

江島地区：景観のまとまりを検討するためのキーワード

歴史・文化

<歴史の感じられる街並み>

- ・江島は商業の町だった
- ・旧伊勢参宮道に沿って広がる歴史的な街並み
- ・参宮道沿いに地形が高くなっている
- ・車利用者が通る道は限られている
- ・参宮道など南北に走る道を軸にT字路が多く存在する
- ・油屋忠兵衛伊達家
- ・小笠原候屯所跡

<寺社>

- ・勝速日神社
- ・高台にある悟真寺
- ・青龍寺
- ・江島若宮八幡神社(常夜燈)
- ・家康命からがら船出の旅

<新しい住宅の街並み>

- ・昔に田畑だった場所は現在、新興住宅地が並んでいる

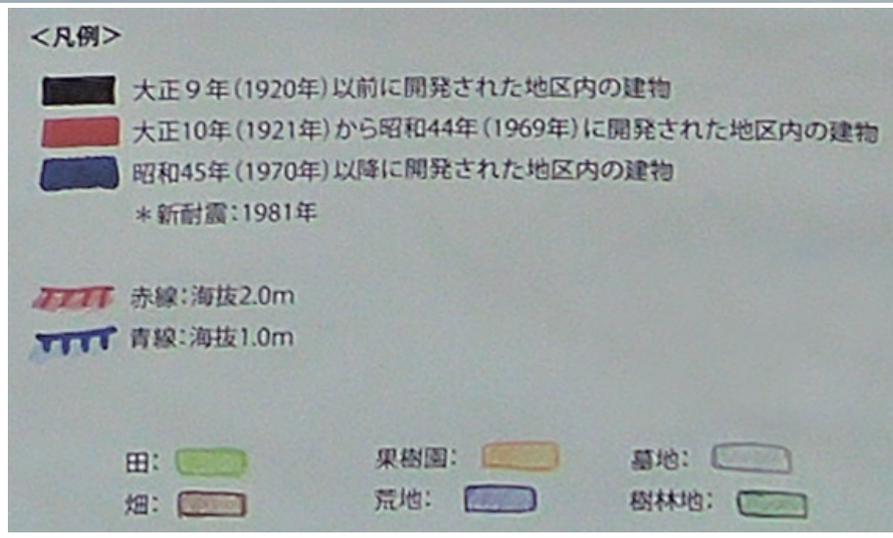
自然

<海岸沿い>

- ・江戸時代は海だった場所が開拓された
- ・水路と海拔0以下の湿地帯

<緑豊かな街>

- ・海が開拓されてできた江島公園
- ・江島若宮八幡神社の木々
- ・朝市で賑わっている
- ・海岸沿いにあった松並木
- ・紀伊藩と小笠原領地の境界の榎



参加者アンケート調査結果

第2回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2014/6/19)

年齢層	20歳以下	21～40歳	41～60歳	61歳以上	未回答	計18枚
	0	0	0	17	1	
性別	女性	男性			未回答	計18枚
	2	10			6	

番号	質問	1.よく分かった	2.分かった	3.どちらでもない	4.分からない	5.全く分からない	未回答	
Q1	講座を終えて景観の捉え方は理解できましたか？	3	15	0	0	0	0	
Q2	景観は何によって決まると感じましたか？	6	2	13	緑	その他	2	
	新旧のまち並みの景観							
Q3	作業内容は適切でしたか？	2	14	1	4.適切ではなかった	5.全く適切ではなかった	未回答	
		2	15	1	0	0	1	
Q4	作業時間は適切でしたか？	2	15	1	4.適切ではなかった	5.全く適切ではなかった	未回答	
		2	10	1	0	0	0	
Q5	今回の景域の分類に納得できましたか？	7	10	1	4.少し納得できなかった	5.納得できなかった	未回答	
		10	6	4	各建物の高さ	各建物の色彩	未回答	
Q6	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	10	6	4	各建物の規模	各建物の高さ	未回答	
		4	3	3	議論する時間	景観に関する基礎知識の共有	その他	
		4	3	3	植生の分布	特になし	4	
Q7	今後のまちづくり講座への期待や希望、分らない事など	欠席者への配慮。 古いものと新しいものの調和を如何にしていけるか、緑豊かな街づくりが大切だと思います。最低限には行政への反映を如何行っていくのかでしようか。 各戸が意志統一(保存)出来るようにする。						0

(4) 第3回まちづくり講座

日時：2014年7月23日(木)14:00～16:00

場所：鈴鹿市伝統産業会館・寺家地区

内容：まち歩き1（寺家方面）、景観資源の確認

参加者数：24名

まちづくり講座の概要：寺家地区の景観資源・問題点を再確認・発見した。まず、3つのグループに分かれて、グループ会議を行い、役割分担を決定した。次に90分ほどかけて、寺家地区のまち歩きをした。その後、見てきたもののまとめを行った。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

第3回まちづくり講座の風景写真



Aチーム検討結果

Aチーム景観資源調査結果

2014.7.23取りまとめ・市原

- 新しく建てられた建物の多くは、道路沿いに庭や駐車場を設けており町並みの連続を壊す (写真①)
 ・格子 (窓や戸) が古い建物だけでなく新しい建物にもみられる → 改築時の配慮がみられる (写真④)
 ・古い建物は空き家になっている (写真③、④、⑤)
 ・文化人の家が残っている (写真③、④、⑤)
 ・アイスストップに寺社があり、昔の道路形態を残している (写真⑥)



寺家の古い街並みゾーン

- <景観要素>
 ・格子 (窓や戸)
 ・路地
 ・職人の住む建物
 ・寺社



川辺の緑

- 時期によっては野鳥が見られる
 ・堤防より低い位置にあるため見えにくい



堀切川沿い

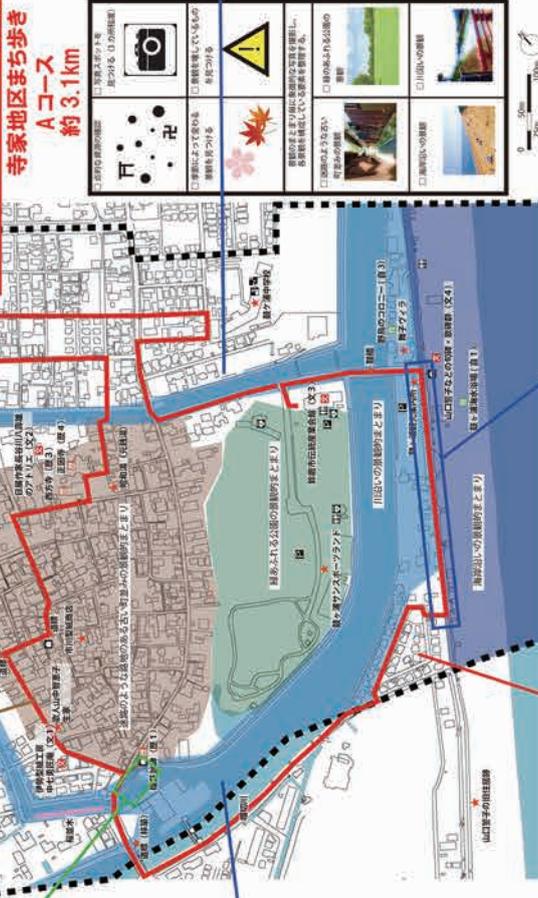
- <景観要素>
 ・川
 ・水門
 ・歩道
 ・堤防 (水面が見えない高さ)



- 歩道からは堤防が高いため、堀切川は見えない
 ・水門は、遠くから見え、川沿いの景観として存在感が大きい
 ・橋も見える位置からは景観要素になりうる

寺家地区まち歩き Aコース 約3.1km

2014.7.23
 海・街道・史跡を活かしたまちづくり願望 in 市原



<p>1. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>2. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>3. 寺家の歴史を学ぶ</p>	<p>4. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>5. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>6. 寺家の歴史を学ぶ</p>	<p>7. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>8. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>9. 寺家の歴史を学ぶ</p>	<p>10. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>11. 寺家の歴史を学ぶ</p> <p>12. 寺家の歴史を学ぶ</p>
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

新しい市街地

- 景観的な統一感がない
 ・三角屋根、勾配屋根にしている家が見られるがそれぞれ不揃いで景観的配慮がされていない



釜屋川沿い

- <景観要素>
 ・川
 ・橋
 ・景色が開け、川に架かる橋がいくつか見える



海岸沿いゾーン

- <景観要素>
 ・私
 ・車道
 ・堤防
 ・景観を壊している要素
 「古くなった空き家」



- 海と砂浜が望める
 ・歩道がなく、車がよくなるため危険
 ・古くなった建物が多くみられ、使われていないものがある



<景観構成>・住宅・車道 (公園)

- 新しく整備された市街地のため、一部路面がきれいに整備されていたり、公園が設けられていた
 ・住宅は、景観を意識した共通のデザインは見られず、個性豊かなものがある
 ・緑が所々にみられる



B チーム検討結果

B チーム景観資源調査結果

2014.7.23取りまとめ:中島

寺家の古い街並みゾーン

- ・複雑な路地で形成される
- ・子安観音や名所が集まる

<景観要素>

- ・路地
- ・ブロック塀
- ・職人の住む建物
- ・寺社

住宅
路地
ブロック塀

生活の知恵の跡
津波への注意の情報

子安観音寺門
西方寺

白子不断橋
複雑な街路形態

景観的に問題
道標

山中智恵子生家
市川屋紙商店

新しい市街地

- ・荒廃した土地と新しい土地が対極的に存在する

型屋工場の跡地
意外と細い道もある

周辺と馴染まない建物
意外と細い道もある

面線の道が交差する
鼓ヶ浦駅の自転車

釜屋川沿い

- ・動物の生息が見られる

元坂トンネルの子安橋
期・鳥が見られた

移転した郵便局
危険な場所

公園ゾーン

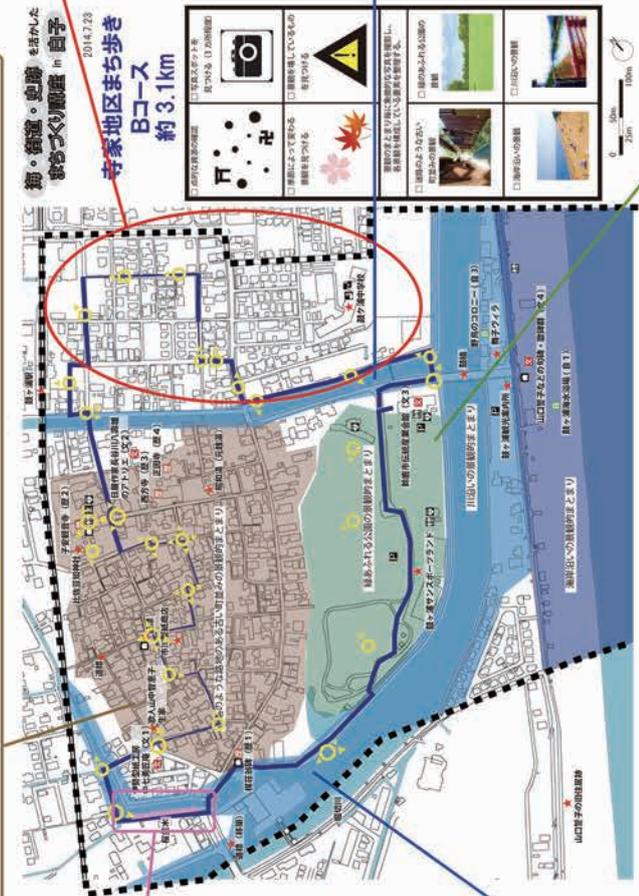
遊具
樹木
通路
グラウンド

- ・散歩やスポーツなどで利用されている
- ・寺家地区の緑において象徴的な場所
- ・以前は養殖池だった

<景観要素>

- ・広々としたグラウンド
- ・多くの樹木
- ・点在する遊具

テニスコート



川沿いの桜並木

- ・主に春の季節景となり、住民の思い出の場所
- ・伐採される予定がある

歩道
堤防

堀切川沿い

- ・堤防が高く川沿いの景観を造っている
- ・渡り鳥が観察できる場所

歩道
堤防

<景観要素>

- ・川
- ・歩道
- ・堤防(水面が見えない)

C チーム検討結果

Cチーム景観資源調査結果

2014.7.23取りまとめ:松浦

寺家の古い街並みゾーン

<景観要素>

- ・路地
- ・塀(板塀)
- ・ブロック塀(防犯的に危険)
- ・職人の住む建物
- ・神社

景観的に問題(色彩)に見える

観音寺がアイストップに見える

西方寺がアイストップに見える

空き家が目立つ

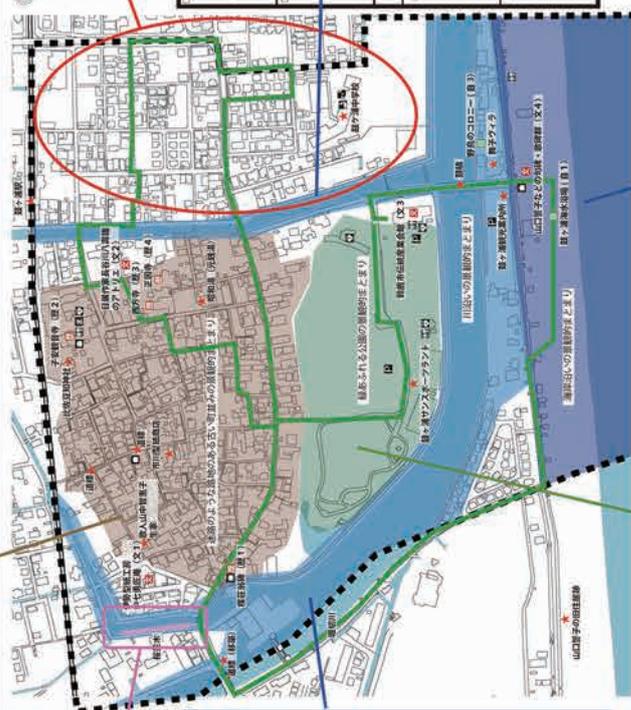
新しい市街地

・景観的な統一感がない

坂が目立つ

柳・街道・史跡をまわしたまちづくり脚燈 in 白子

寺寄地広まち歩きコース 約3.1km



釜屋川沿い

・あまり特徴がない

川沿いの桜並木

・防犯的に問題があるため、伐採する方向らしい

・なんとか確保できないか

掘切川沿い

<景観要素>

- ・川
- ・歩道
- ・堤防(水面が見えない)

・しじみを取る人が多かった

・アサリや蛤なども捕れた

・うなぎもいる

・堤防が高く川沿いの道を歩いていても川面が見えない

公園ゾーン

樹木 道具

広々としたグラウンド

<景観要素>

- ・広々としたグラウンド
- ・散歩やスポーツなどで利用されている
- ・気軽にける地域に溶け込んだ公園

王子製紙より寄贈されたウツクシマツは、松くい虫により枯れてきている

公園に面した駅地のソーラー発電が目立つ

海岸ゾーン

<景観要素>

- ・白砂青松

・あまり海水浴客が来なくなってしまう

↓

ゴミの問題、水質の問題等

・松くい虫により松が枯れてきている

海 砂浜

<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 カメラも、スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する
<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する	<input type="checkbox"/> 景観資源の調査 スマートフォンも活用する

参加者アンケート調査結果

第3回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2014/7/23)

年齢層	20歳以下	21～40歳	41～60歳	61歳以上	未回答	計19枚
性別	女性	男性			未回答	計19枚
	4	12	1	17		3

番号	質問	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満	未回答	
Q1	まち歩きをした感想は？	4	12	3	0	0	0	
Q2	まち歩きを終えて景観の捉え方は理解できましたか？	3	2.分かった	3.どちらでもない	4.分からない	5.全く分からない	未回答	
Q3	まち歩きルートは適切でしたか？	3	2.適切だった	3.どちらでもない	4.少し不適切だった	5.不適切だった	未回答	
Q4	まち歩き時間は適切でしたか？	1	2.適切だった	3.どちらでもない	4.少し不適切だった	5.不適切だった	未回答	
Q5	景観は何によって決まると感じましたか？	暑かった。 もっとじっくり歩きたかった。 まあまあだだったと思います。 開発時期 地形(高低差) 川や海 その他 文化施設、電柱、古い町並み						未回答
Q6	まとめ作業内容は理解できましたか？	6	2.少し納得できた	3.どちらでもない	4.少し納得できなかった	5.納得できなかった	未回答	
Q7	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	7	各建物の建築時期	各建物の規模	各建物の高さ	各建物の色彩	未回答	
Q8	今後のまちづくり講座への期待や希望、分からない事など	2	植生の分布	議論する時間	特になし	その他	未回答	
Q8	今後のまちづくり講座への期待や希望、分からない事など	もっと勉強していかねばと思います。 自治会との連携、係わりをよく深く希望 文化財、道路系調べて、その保護管理状況を調べ申言する。 よくわかりました。 市への提言が出来る様な街づくりが出来れば最高						0

(5) 第4回まちづくり講座

日時：2014年8月21日(木)14:00～16:00

場所：白子公民館、白子地区

内容：まち歩き2（白子方面）、景観資源の確認

参加者数：21名

散策部会の概要：白子地区の景観資源・問題点を再確認・発見した。まず、3つのグループに分かれて、グループ会議を行い、役割分担を決定した。次に90分ほどかけて、白子地区のまち歩きをした。その後、見てきたもののまとめを行った。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

第4回まちづくり講座の風景写真



A チーム検討結果

白子地区Aチーム景観資源調査結果

2014.8.21取りまとめ:松浦

伊勢街道・古い路地や町並みが残る景観的まとまり

<景観要素>
 ・街道(ノコギリの歯状の形)
 ・町家建築
 ・伊勢街道

江戸時代
 蔵 坪庭 町家 街道 街通 駐車場 住宅

現在
 住宅 駐車場 街通 町家 坪庭 蔵

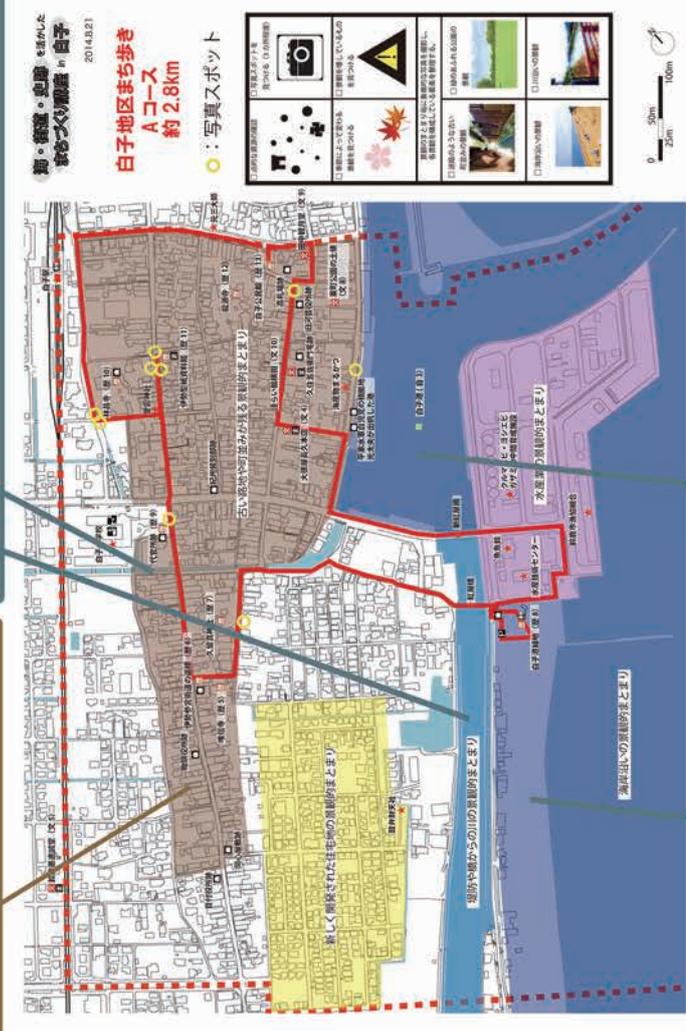
街道
 町家建築
 道標のある絵になる場所
 ノコギリの歯状の道
 伊勢型紙資料館
 久留間神社
 唯信寺
 愛宕神社

街並みの変化している
 セットバックして建つ住宅
 セットバックして建つ住宅
 高層集合住宅

川に面するゾーン

紅尾橋のたもとと碓ヶ浦の石碑
 紅尾橋(川の拡張により
 なくなるとのこと)

白子小学校の西を流れる白子川



海岸・港ゾーン

海
 砂浜
 松林
 漁師の倉庫
 漁師の倉庫
 松林
 砂浜

<景観要素>
 ・海
 ・砂浜
 ・松林
 ・漁師の倉庫

ゴミが放置されている
 白子港緑地はBBOスポット

港沿いの道
 3月頃の小学生の季節になると
 小舟が並ぶ(季節前)

新紅尾橋からの白子港の眺め

B チーム検討結果

B チーム景観資源調査結果

2014.8.21取りまとめ:中島

白子港沿い

- ・漁業の町である白子地区が感じられる
- ・紅屋根橋の撤去について心配される



<景観要素>

- ・海
- ・堤防
- ・漁船



光太夫が出帆した港

高低差のある場所

新紅屋根橋

紅屋根橋

津波や投棄によるゴミ

地域産業・海産物の店 漁業の名残・漁れん 黒く統一されていた外観



町家

町家

街並み

久留農神社

町並みを含んでいる

和菓子屋

久留農神社

街道の道構

6〜7月に相模部屋・箱古場として栄える

和菓子屋

町家

町家

街並み

久留農神社

町並みを含んでいる

和菓子屋

白子地区まち歩き Bコース 約2.8km

2014.8.21

海・街道・史跡を活かしたまちづくり



新しい市街地

- ・整備された町並みが形成されている
- ・防災対策が各所で見られる

<景観要素>

- ・直線道路
- ・セットバックした新しい建物



住宅

直線道路



市街地境界の危険性

直線の道が交差する



防火器具・避難場所の標示



工事中の浄水槽

防火器具・避難場所の標示



工事中の浄水槽

防火器具・避難場所の標示

白子港緑地



草・砂

- ・散歩やBBQなどで利用されている
- ・白子地区の線において象徴的な場所

<景観要素>

- ・海
- ・樹木
- ・草や砂
- ・施設

投棄されたゴミ

参加者アンケート調査結果

第4回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2014/8/21)

年齢層	20歳以下	21~40歳	41~60歳	61歳以上	未回答	計12枚
	0	0	2	9	1	12
性別	女性	男性			未回答	計12枚
	3	7			2	12

番号	質問	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満	未回答
Q1	まち歩きをした感想は？	2	9	0	1	0	0
Q2	まち歩きを終えて景観の捉え方は理解できましたか？	2	2	10	0	0	0
Q3	まち歩きルートは適切でしたか？	0	2	10	1	0	1
	新しい町と古い街をくらべて見る事ができた。 車では行かない路で発見や気がつく事が多々あったから。 地図を見て歩いていたが、途中間違った。知らない道もあるものだ！ 知らない道があった。						
Q4	まち歩き時間は適切でしたか？	0	2	10	2	0	0
	もっと時間をかけてゆっくり回ってみても良かったと思いました。 歩くことで発見があり楽しく過ごせた。						
Q5	景観は何によって決まると感じましたか？	6	3	8	2	0	0
	開発時期	地形(高低差)	川や海	緑	その他		
	社寺、まち並み、古いまち並みの保存・適切にメンテナンス必要						
Q6	まとめ作業内容は理解できましたか？	5	4	0	0	0	3
Q7	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	2	3	2	0	1	1
	各建物の建築時期	各建物の建築様式	各建物の規模	各建物の高さ	各建物の色彩		
	動物・昆虫の生息分布	植生の分布	議論する時間	特になし	その他		
Q8	今後のまちづくり講座への期待や希望、分らない事など	1	1	1	4	0	1
	各々の世代の景観意識の高揚に結びつけるにはどうするか、改善案の行政へのつなぎをどうするか、景観条例への反映どうしたいか、方 向づけ欲しい 町づくりの指標がなく各自が勝手に建築しているため一貫性のない町となりつつある。						

(6) 第5回まちづくり講座

日時：2014年9月30日(木)14:00～16:00

場所：白子公民館、江島地区

内容：まち歩き3（江島方面）、景観資源の確認

参加者数：26名

まちづくり講座の概要：江島地区の景観資源・問題点を再確認・発見した。まず、3つのグループに分かれて、グループ会議を行い、役割分担を決定した。次に90分ほどかけて、江島地区のまち歩きをした。その後、見てきたもののまとめを行った。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

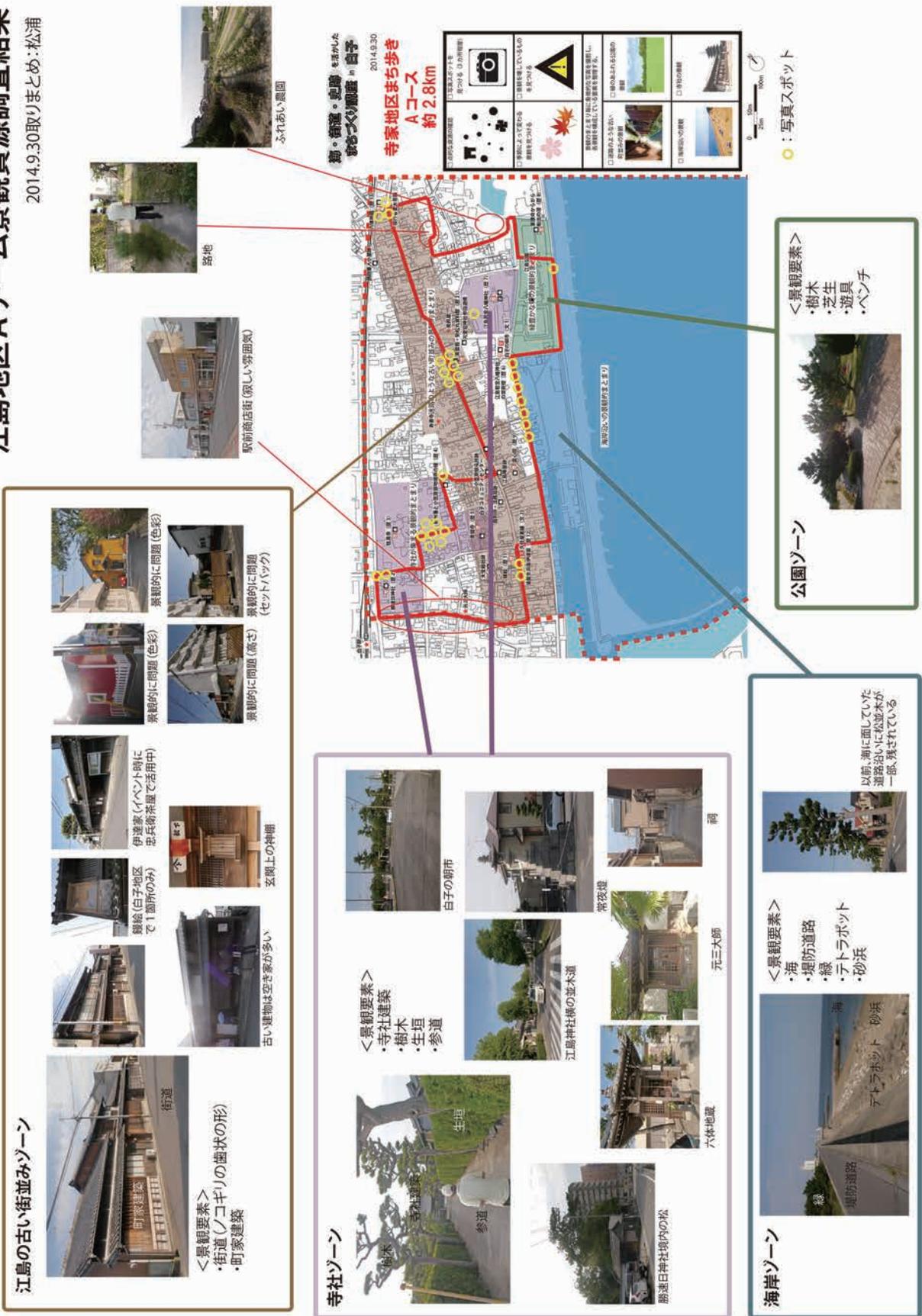
第5回まちづくり講座の風景写真



A チーム検討結果

江島地区Aチーム景観資源調査結果

2014.9.30取りまとめ:松浦



B チーム検討結果

Bチーム景観資源調査結果

2014.9.30取りまとめ：中島

寺家の古い街並みゾーン

- 伊勢参宮街道に沿って
- 町家が並ぶ
- 街道では車両交通が多い

<景観要素>

- 街道
- 町家建築
- 寺社

寺社が集まるゾーン

- 伊勢参宮街道から逸れた所には寺社が多く存在する
- 鳥居や門で景観的に印象付けられる



元三大師



10月にはF1折願で賑わう



美蓉館・勢丸資料館



勝速日神社



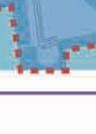
善善寺の百日紅



井戸からの汲み上げ



江島若宮八幡神社の裏



霊心院にある小笠原頼長の墓

新しい市街地

- 点在する形で新市街地が存在する



市街地の佇む車を通る



景観を意識した建物



新しい住宅



景観を考慮した住宅



歩道橋



高さの自立つ建物 伝統文化を取り入れた建物

<景観要素>

- 道路
- 新しい住宅
- 通用門や前庭

江島公園

- 散歩で利用されている
- 江島地区の縁において象徴的な場所

<景観要素>

- 樹木
- 草花
- 砂
- レンガ

江島港沿い

- 海が広がり景色が良い

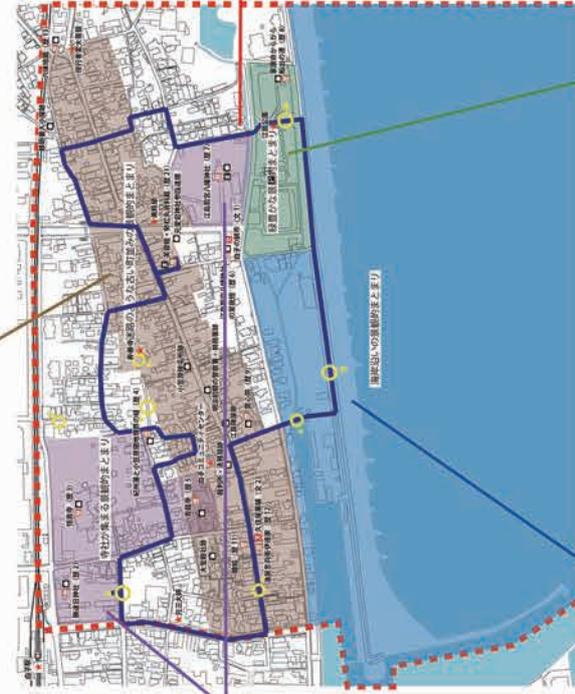
<景観要素>

- 海
- 堤防
- テトラポット

江島地区まち歩きコース 約2.8km

2014.9.30

新・街道・記憶を深めよう まちづくり遺産 中島





カメラアイコン



警告アイコン



カメラアイコン



カメラアイコン

江島公園

- 散歩で利用されている
- 江島地区の縁において象徴的な場所

<景観要素>

- 樹木
- 草花
- 砂
- レンガ

参加者アンケート調査結果

第5回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2014/9/30)

年齢層	20歳以下	21～40歳	41～60歳	61歳以上	未回答	計16枚
性別	女性	男性			未回答	計16枚
	0	4	9	14	1	3

番号	質問	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満	未回答
Q1	まち歩きをした感想は？	4	9	3	0	0	0
Q2	まち歩きを終えて景観の捉え方は理解できましたか？	3	12	1	0	0	0
Q3	まち歩きルートは適切でしたか？	0	13	2	1	0	0
<p>日頃通らない所興味があった。 知らない、狭い道が多かった。 歩いたことのない道が多くルートは良かった。</p>							
Q4	まち歩き時間は適切でしたか？	0	14	0	0	0	2
Q5	景域は何によって決まると感じましたか？	7	4	5	3	4	未回答
<p>開発時期 地形(高低差) 川や海 緑 その他</p>							
Q6	まとめ作業内容は理解できましたか？	5	11	0	0	0	未回答
Q7	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	7	3	3	1	1	未回答
<p>動物・昆虫の生息分布 植生の分布 議論する時間 特になし</p>							
Q8	今後のまちづくり講座への期待や希望、分らない事など	0	1	0	5	0	3
<p>ある程度行政で指導する必要有り 今後、未来に向けた街づくり お店、商店街 だんだんくわしくわかる様になって来て楽しい すべて勉強不足であると思いました。</p>							

(7) 第6回まちづくり講座

日時：2014年11月26日(木)14:00～16:00

場所：白子公民館

内容：景観分析図・景観資源マップ案の発表、修正意見の検討

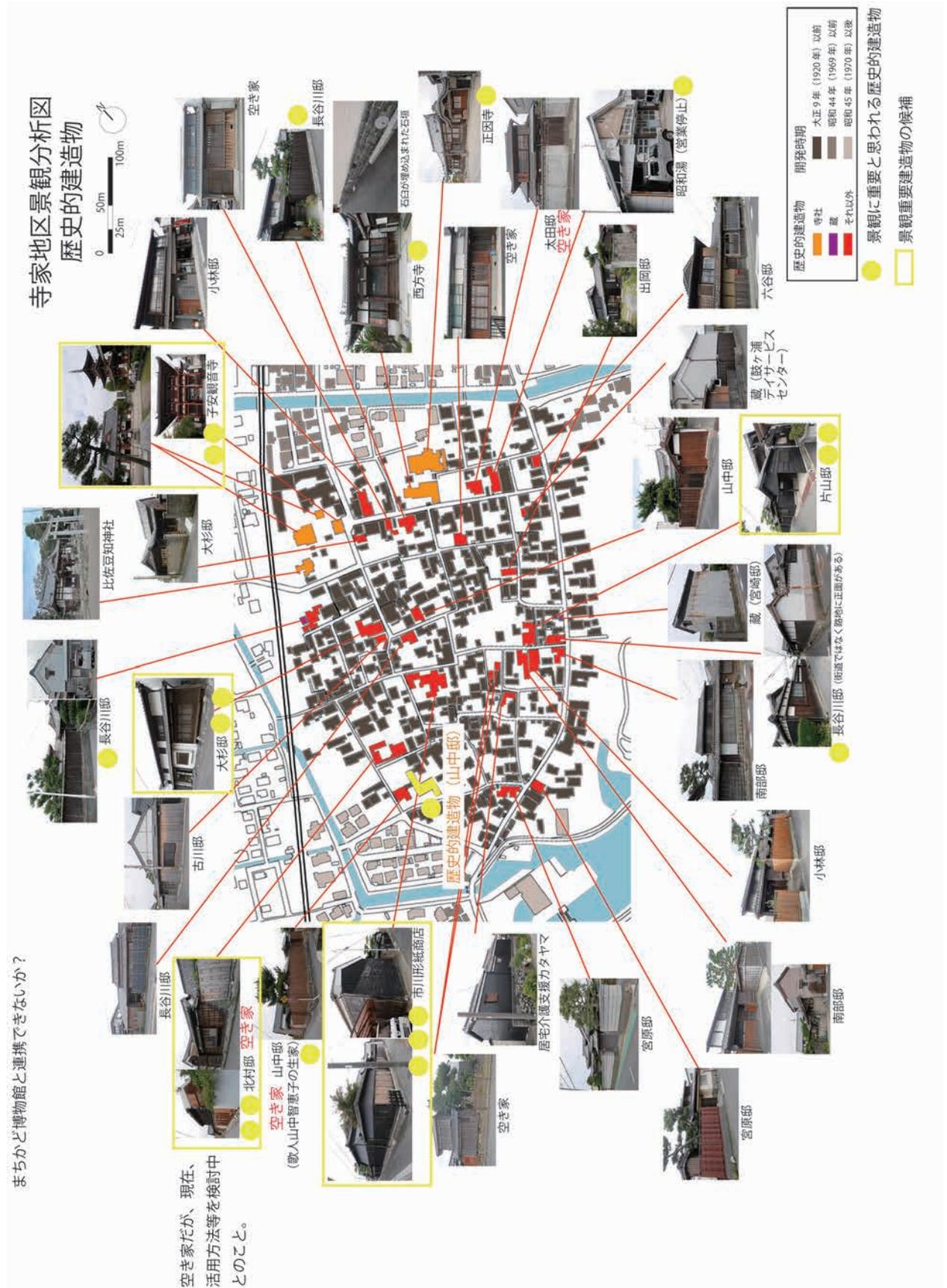
参加者数：15名

まちづくり講座の概要：まず三重大学からこれまでのまち歩き景観資源調査の結果の報告及び景観資源マップ案の提示があった。その後、3グループ（寺家地区・白子地区・江島地区）に分かれて、1）景観資源マップ案の修正意見の検討、2）視点場の検討、3）町家や寺社などの歴史的建造物の分布を確認し、景観重要建造物、景観重要樹木、景観重要公共施設の候補の検討、4）季節景と生活景についての考え、について意見交換を行った。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

第6回まちづくり講座の風景写真

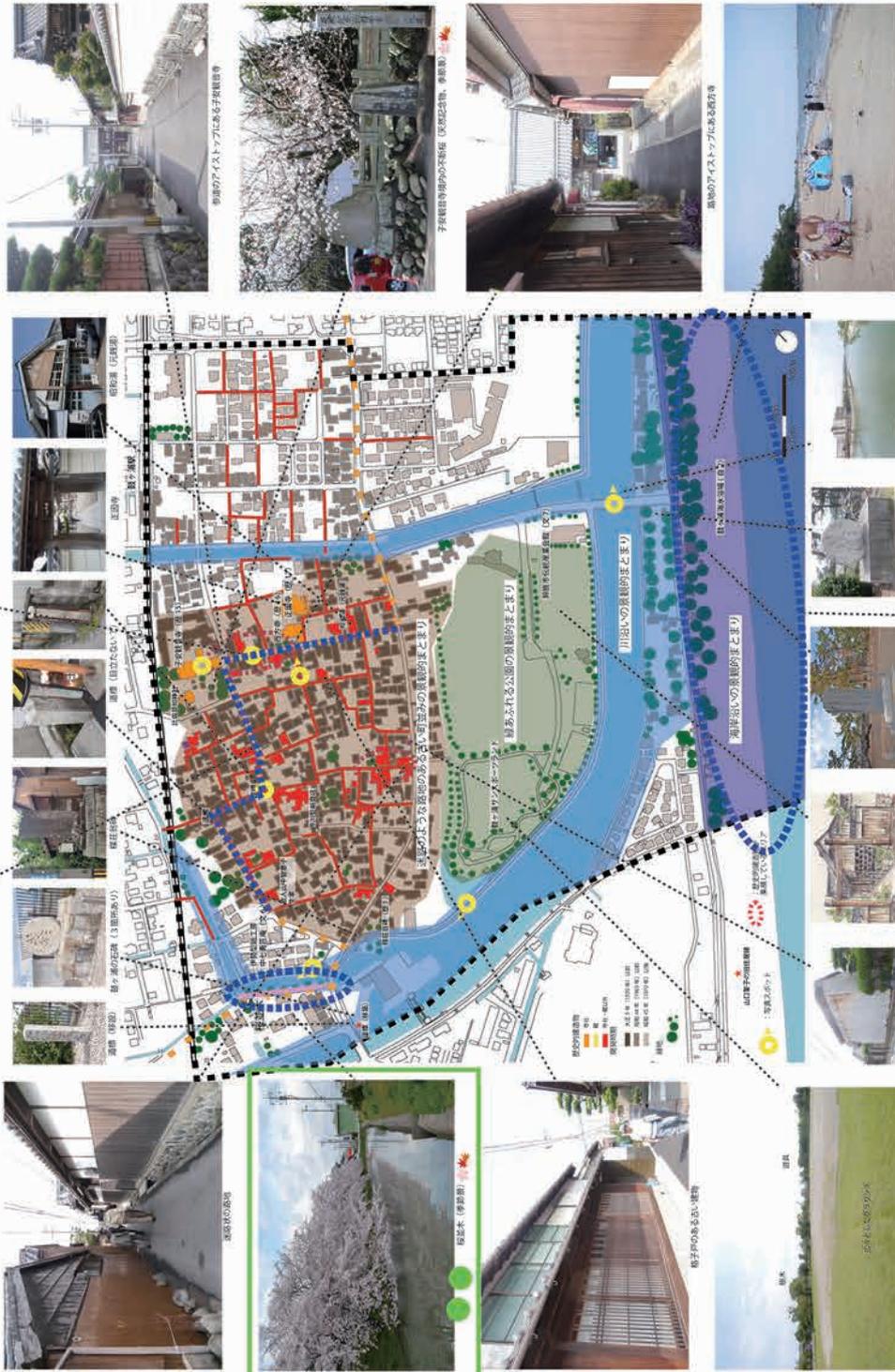


寺家地区チームの検討結果



2014年度第6回白子まちづくり講座チームまとめ02
 景観資源マップの修正意見の検討

景観重要公共施設の候補：伊勢街道（北側）
 景観重要公共施設の候補：伊勢街道（伊勢街道（子安観音前）



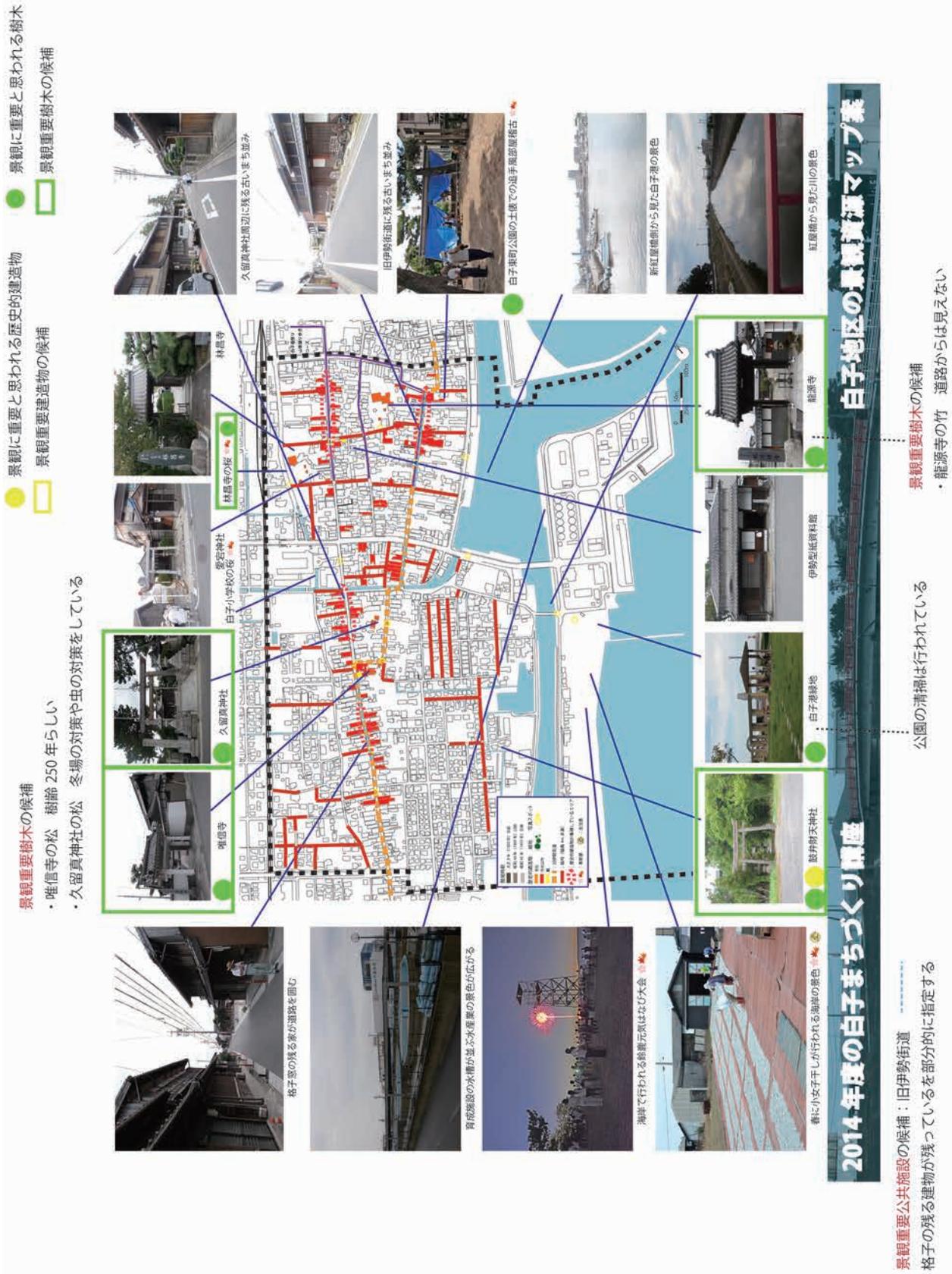
景観重要樹木の候補

- ・護岸工事のため、桜並木を伐採する計画を鈴鹿市が持っているらしい。
- ・毛虫対策が必要。

景観重要公共施設の候補：鼓ヶ浦海水浴場
 松くい虫（マツ材線虫病）の被害が広がっており、対策が必要

● 景観に重要と思われる樹木
 □ 景観重要樹木の候補

2014年度の白子まちづくり講座
 寺家地区の景観資源マップ案



参加者アンケート調査結果

第6回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2014/11/26)

年齢層	20歳以下	21～40歳	41～60歳	61歳以上	未回答	計10枚
	0	0	2	7	1	
性別	女性	男性			未回答	計10枚
	3	6			1	

番号	質問	1.納得できた	2.少し納得できた	3.どちらでもない	4.少し納得できなかった	5.納得できなかった	未回答	
Q1	景観まともパネル発表の内容は理解できましたか？	4	6	0	0	0	未回答	
Q2	作業内容は理解できましたか？	5	5	0	0	0	未回答	
Q3	作業内容は適切でしたか？	2	7	1	0	0	未回答	
<p>白子の歴史や街の様子など町歩きなどをすることにより理解することができました。 民家は写真だけではよくわからなかった。実際に歩いた時は大切な建物で残していかなければと思うが。</p>								
Q4	作業時間は適切でしたか？	2	8	0	0	0	未回答	
<p>参加人数が少なく残念。 街を歩いた時の様子など思い出し楽しくできました。</p>								
Q5	景観は何によって決まると感じましたか？	6	5	6	7	2	未回答	
<p>開発時期 地形(高低差) 川や海 緑 その他</p>								
Q6	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	4	4	2	0	1	未回答	
<p>人、住民の年齢層 各建物の建築時期 各建物の建築様式 各建物の規模 各建物の高さ 動物・昆虫の生息分布 植生の分布 議論する時間 特になし その他 参加数</p>								
Q7	あ今後のまちづくり講座への期待や希望、分らない事など	<p>名古屋の鳥久の様にならない様に初く、手を打つ必要がある。寺家地区の伊勢街道をもっと活用できる方法を考えてほしい。 連帯と共有と行動力を活かせたら 学生さんの協力が大変役立ちます 今後とも宜しくお願いします 海から見た景観(あき家のりようについて!)、各建物の色彩。 行政にどうやうやって提案していくか ○○等</p>						2

(8) 第7回まちづくり講座

日時：2015年1月14日(木)14:00～16:00

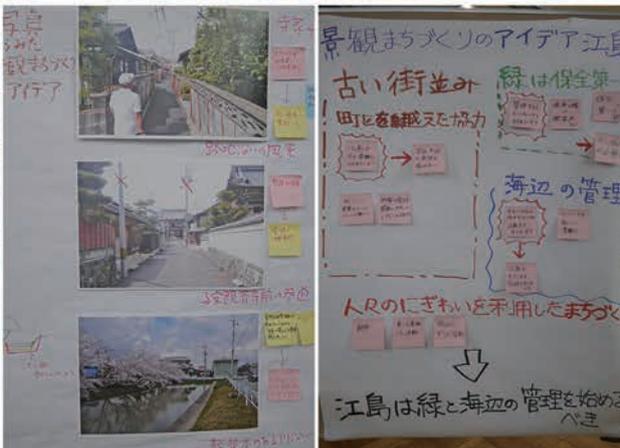
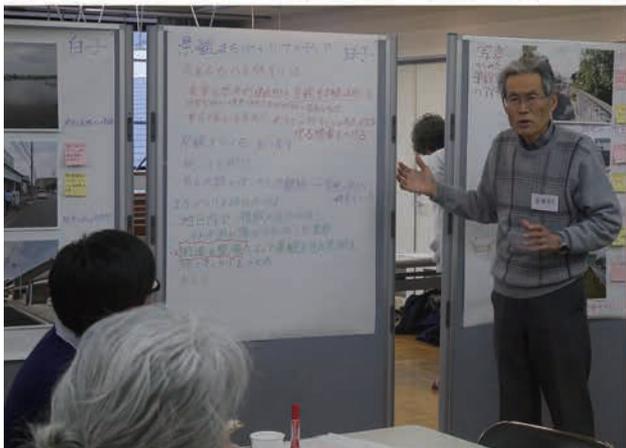
場所：白子公民館

内容：景観分析図・景観資源マップの発表、景観まちづくりを進めていくための課題の整理

参加者数：22名

まちづくり講座の概要：まず三重大学から、修正意見を踏まえた景観資源マップ修正案の発表があった。次に3グループ（寺家地区・白子地区・江島地区）に分かれて、1）景観資源マップ修正案についての修正意見の検討、2）景観まちづくりを進めていくためのアイデアの検討、3）具体的な写真を題材として景観まちづくりのアイデアの検討、を行った。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

第7回まちづくり講座の風景写真



寺家地区チームの検討結果

景観まちづくりのアイデア

案内看板の設置

起点になる所に案内地図があるといいと思います。 子安観音寺を中心としてこの近辺は旧跡も多いので全体案内板（大きいもの）を建てると良いと思う。

空き家・空き地問題

寺家地区の中心地には空き地や空き家が目立つ

まちの歴史の聞き取り
(オーラルヒストリー)

昔の街を知っている語り部的な人を探し、昔の事を聞き取る。

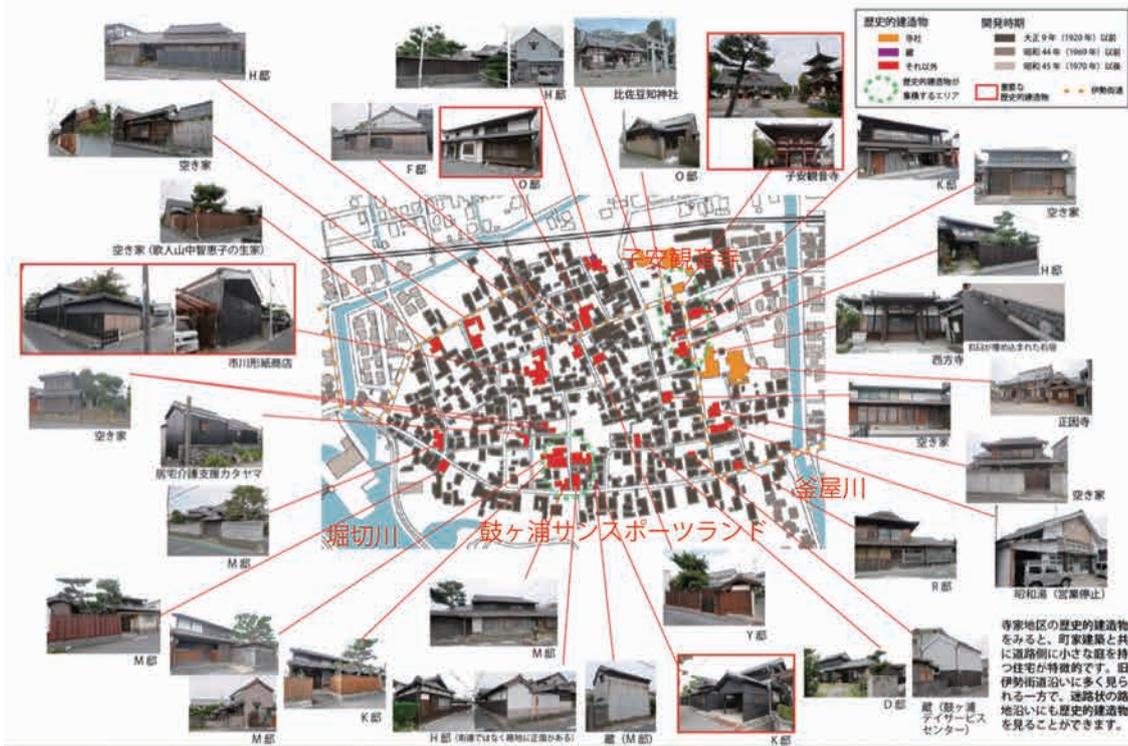
不断桜の保存

子安観音寺の国の天然記念物「不断桜」の未来保存。桜の近くには駐車せせないようお願いできないか（排ガス等の問題あり）。

海岸沿いの散策路整備

夏場の海水浴客より年間を通して地元（特に高齢者）の住民のウォーキング（散歩）利用者が多い海岸を整備して「ウォーキング海岸道」「トイレ」「ベンチ」「距離マップ」を設置

地図が分かりにくいので、目印になるような川の名称等を入れられないか？



2014年度の白子まちづくり講座

寺家地区の歴史的建造物マップ



2014年度の白子まちづくり講座

寺家地区の景観資源マップ

2014年第7回白子まちづくり講座 (2015.1.14)

寺家チーム

写真からみた景観まちづくりのアイデア～寺家地区

資源
 提案
 問題点

■路地沿いの風景



狭い路地は寺家の特徴なので残したい

ブロック塀が危ない（地震時）



低い板塀に変えていく

■子安観音寺前の参道



子安観音寺前の参道は寺家地区の中でも重要な場所なので、重点的に景観整備をするべき

電柱が邪魔



電柱の地中化

■桜並木のある川沿い



川沿いに残っている桜並木は貴重な景観資源

自然的景観が薄れていく中で「桜の苑」は是非残したい

桜は残す方向で工事を行って欲しい

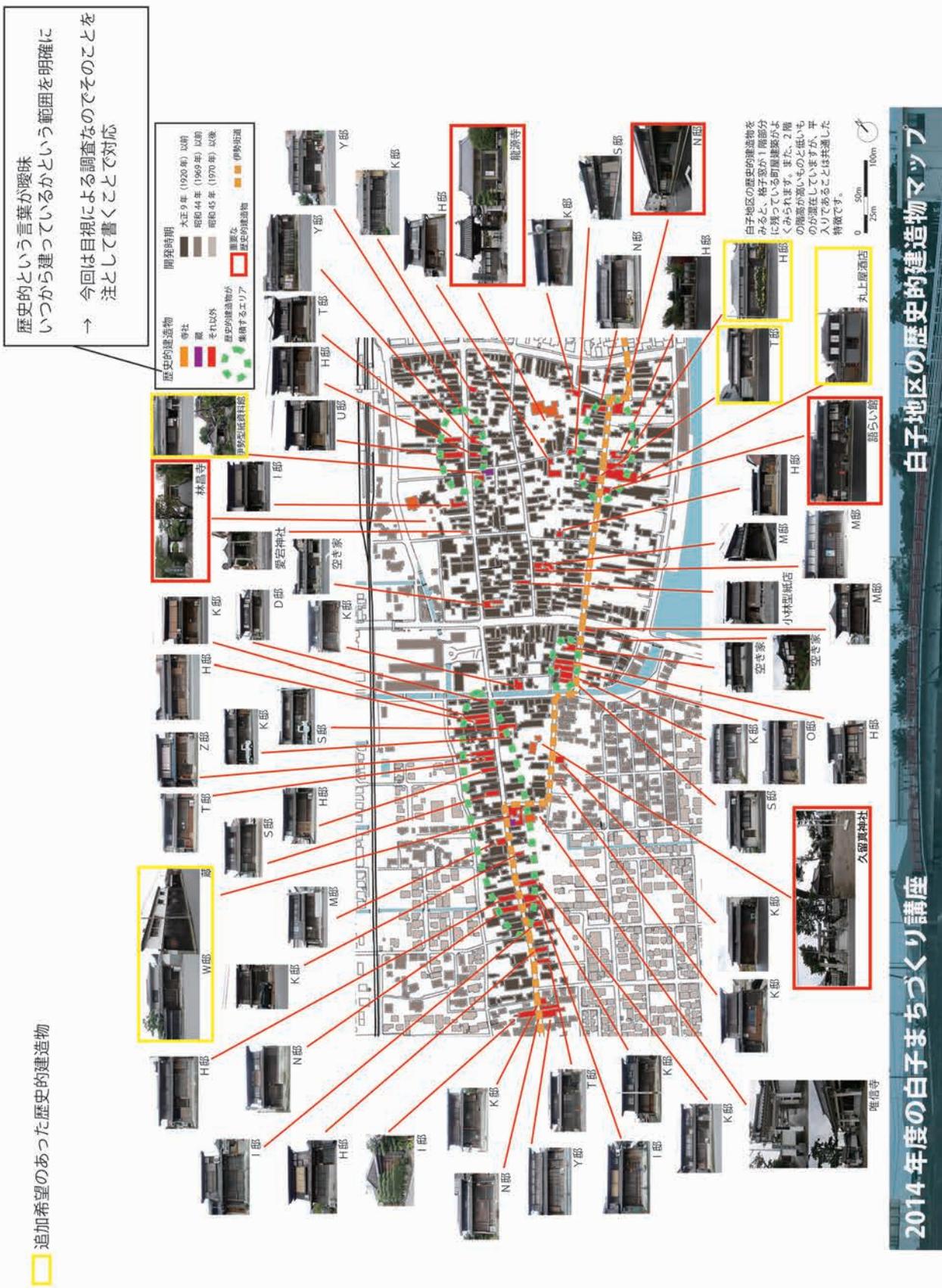
桜を保存しつつ河川改修をするような代替案を検討すべき



河川改修は決まっているため、変更・中止は不可能？



白子地区チームの検討結果



白子まちづくり講座（1月14日）のまとめ

景観まちづくりのためのアイデア

■今ある景観（資源）を残すには

- ・重要な歴史的建造物を景観重要建造物にする
→簡易な指定
 - ・町屋建築の空き家を壊すか残すかの選択をする必要がある。
 - ・伊勢型紙などの資源を利用して空き家利用する。（空き家を残す方法）
- 景観の守る順番をつけることが重要

■景観まちづくりを進めるためには

- ・地区内の複数ある区分があり、うまく連携できていないため横のつながりの形成が必要
- ・街道の整備を行う
→ まちの景観に気付き、個々人のまちづくり意識の向上につながる

■景観をつくる、取り戻すためには

- ・街道沿いに統一した街灯を設ける
- ・昔の水路の使い方を体験 廻船問屋？
→ 景観資源に気付く機会をつくる

■景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



「新紅屋橋からの景観」

- ・特に問題意識はないようで意見もでなかった



「駅東口前の商店街」

- ・商店街として機能しておらず近くにスーパーがなく困っている人もいる → 駅反対側にあるイオンはいける範囲でない人もいる様子
- ・商店街としての活性化を考えると車での利用ができない点が問題になる → 駐車場が必要か？



「街道沿いの連続性」

- ・街道沿いに設けられた駐車場が景観に悪影響
- ・町屋の特徴である格子の連続を保つ対策が必要
→ 住民個人の協力が必要

江島地区チームの検討結果

景観まちづくりのアイデア

古い町並み 町区を越えた協力

- ・ 江島は今も管理が分かれている！？
→ 学区・町区の連体を強めたい
- ・ まちづくり建築のルールづくりは難しい
- ・ 町家の良さを簡単にアピールできることはないか

緑の保全を第一に

- ・ 境界の榎や松並木など
- ・ 保全第一
- ・ 管理する人がいないからかれてしまう
→ 市の協力が必要

海辺の管理

- ・ 灯台と灯台の間はそうじしてない 江島だけ手つかず！！
→ 江島もそうじする団体を設けるべき
- ・ マリーナも寂しい景観に…

人々の賑わいを利用したまちづくり

- ・ 朝市
- ・ 祭りを意識した活動
- ・ 海辺のそうじ活動

⇒江島は緑と海辺の管理を始めるべき

景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



町家建築とセットバックした建物について

- 良：格子が並んできれい
平入り屋根が街道に連なる
- 悪：駐車場のためのセットバック
町家は暗い雰囲気になりがち

改善案

- ・ 駐車場を別の場所にまとめてつくる
- ・ 空き地の有効活用をする
- ・ 統一した街灯やちょうちんの設置



海岸のゴミ問題

- 良：海岸の眺め良い景観 波の音
江島海岸 展望がよく遠くはセントレアが…
- 悪：緑が一部を除き少ない
江島海岸は海水浴ではないからか、
管理維持体制がととのっていない

改善案

- ・ ボランティアの清掃は限られた地域のみ
- ・ 範囲を決めて少しずつやるべき
- ・ ゴミ回収の面でも市の協力が必要



松並木の再生について

- 良：松並木が美しい 歴史的な緑
増殖したい 保全大切
- 悪：本数の減る松並木
松並木は現状のみで現在の状態をつづけるのみ
歩道と民家の敷地をまたぐ木々

改善案

- ・ 保全するためには…
- ・ 管理する人がほしいが住民だけではムリ

参加者アンケート調査結果

第7回白子まちづくり講座アンケート調査結果(2015/1/14)

年齢層	20歳以下	21～40歳	41～60歳	61歳以上	未回答	計16枚
	0	0	0	15		1
性別	女性	男性			未回答	計16枚
	5	9				2

番号	質問	1.納得できた	2.少し納得できた	3.どちらでもない	4.少し納得できなかった	5.納得できなかった	未回答
Q1	景観資源マップ修正案の発表の内容は理解できましたか？	8	5	1	2	0	未回答
Q2	作業内容は理解できましたか？	6	8	0	2	0	未回答
Q3	作業内容は適切でしたか？	1	14	0	1	0	未回答
Q4	作業時間は適切でしたか？	1	9	5	0	0	未回答
<p>たぐさんの建造物の写真に歴史的建造物はどれかと問われてもむずかしい景観としての歴史性を見て決めていく方法しかわからなかった。作る時間が少々不足、3地域割にメンバーに工夫</p>							
Q5	景観は何によって決まると感じましたか？	7	6	10	9	3	未回答
		開発時期	地形(高低差)	川や海	緑	その他	
		政策					0
Q6	今回の作業で足りなかった要素は何ですか？	2	4	1	2	3	未回答
		各建物の建築時期	各建物の建築様式	各建物の規模	各建物の高さ	各建物の色彩	
		動物・昆虫の生息分布	植生の分布	議論する時間	特になし	その他	
		3	5	4	1		5
Q7	今後のまちづくり講座への期待や希望、分らない事など	<p>よい勉強になります。 一年間ありがとうございました。自分の街を見直すことが出来てとてもよかったです。街のなりたち等昔昭和の初期の話も聞いて、地域ぐるみ水辺の景観資源、商家へ荷物を運ぶ水路を小舟で体験して見たい。桜並木の保全(保護)と安全、災害対策、虫害など「まちづくり」を議論する、要望希望が先に立つ実現性の問題についてフォロー出来ればもっと関心が湧くのではないかと思う。</p>					



2. 景観資源マップ

迷路のような路地のある古い町並みの景観的まとめり

緑あふれる公園の景観的まとめり

川沿いの景観的まとめり

海岸沿いの景観的まとめり

(1) 寺家地区の景観資源マップ

鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ

はじめに

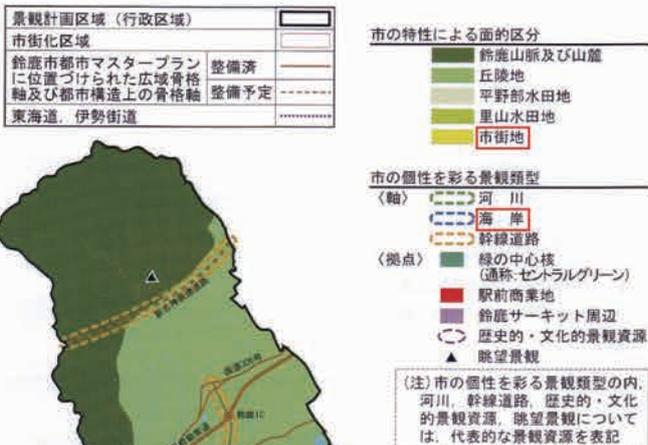
寺家地区の景観資源マップは白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014」の中で7回に渡り実施された白子まちづくり講座により制作されました。

- 第1回まちづくり講座 (2014.5.15)
・昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス
- 第2回まちづくり講座 (2014.6.19)
・景観資源分析地図の作成、守るべき景観のリストアップ(寺家地区・白子地区・江島地区)
- 第3回まちづくり講座 (2014.7.23)
・まち歩き1(寺家方面)、景観資源の確認
- 第4回まちづくり講座 (2014.8.21)
・まち歩き2(白子方面)、景観資源の確認
- 第5回まちづくり講座 (2014.9.30)
・まち歩き3(江島方面)、景観資源の確認
- 第6回まちづくり講座 (2014.11.26)
・景観資源マップ案の発表・修正意見の検討(寺家地区・白子地区・江島地区)
- 第7回まちづくり講座 (2015.1.14)
・景観資源マップの発表
・景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



寺家地区の位置づけ

寺家地区は鈴鹿市景観類型区分図によると、面的区分の「市街地」、景観類型の「海岸」に位置づけられています。



寺家地区 鈴鹿市景観類型区分図 (出典:鈴鹿市景観計画)

寺家地区の景観資源

景観資源を分析するためには、地区形成の歴史を把握し、地区の構成要素を分析する必要があります。これらの分析により、寺家地区には大きく4つの特徴的な景観的まとまり(迷路のような路地のある古い町並みの景観的まとまり、緑あふれる公園の景観的まとまり、川沿いの景観的まとまり、海岸沿いの景観的まとまり)が存在し、景観資源については、歴史・文化的景観資源、自然的景観資源、水辺の景観資源の3つに分けることができます。



歴史・文化的景観資源

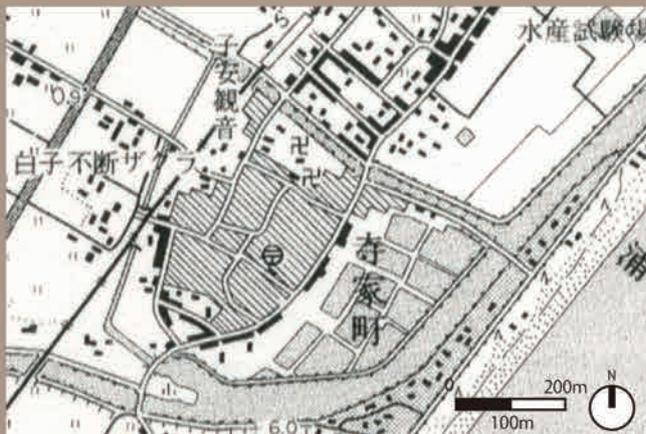


自然的景観資源



水辺の景観資源

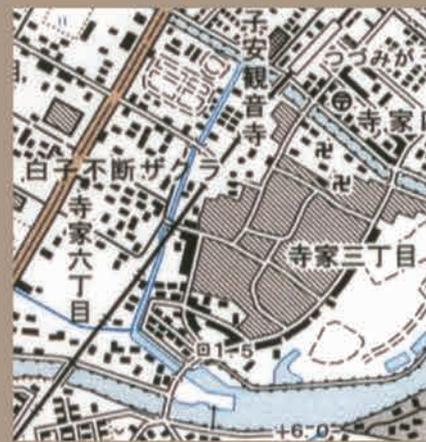
都市形成の歴史



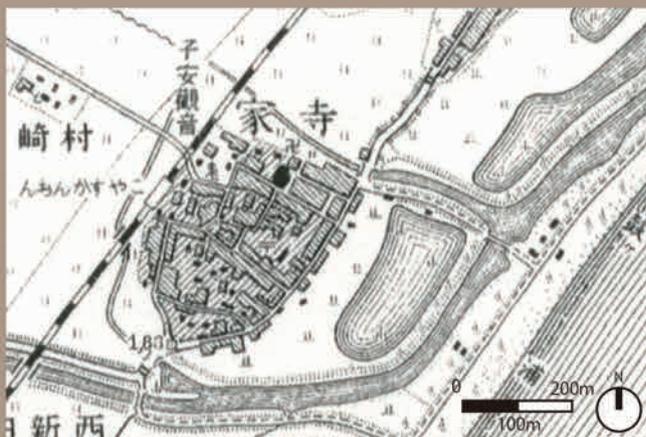
出典：1/25000地形図「白子」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和45年発行、国土地理院)

昭和44年
(1969年)

駅が北東側に移設され、鼓ヶ浦駅と改称されました。駅の東側に新市街地が形成されています。また、養鰻場が埋め立てられています。西側では国道23号線が開通しています。



出典：1/25000地形図「白子」(昭和44年改測・平成19年更新)

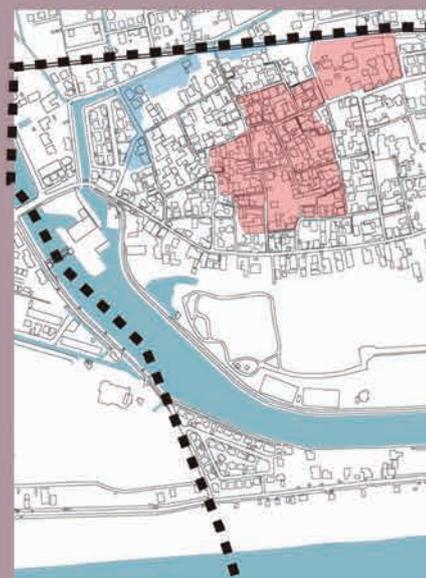


出典：1/25000地形図「白子」(大正9年測図、大正11年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)

大正9年
(1920年)

大正4年に伊勢鉄道白子～身田町開通時に子安観音駅が子安観音寺西に設置されました。折れ曲がった伊勢街道沿いに町が形成されていることが分かります。

都市の構成要素毎の分析



三重県白子都市計画街路決定の件(昭和17年内務省告示第681号)付図(江戸期の絵図と思われる)

江戸期

江戸期の寺家は観音寺の門前町として発達したことが分かります。



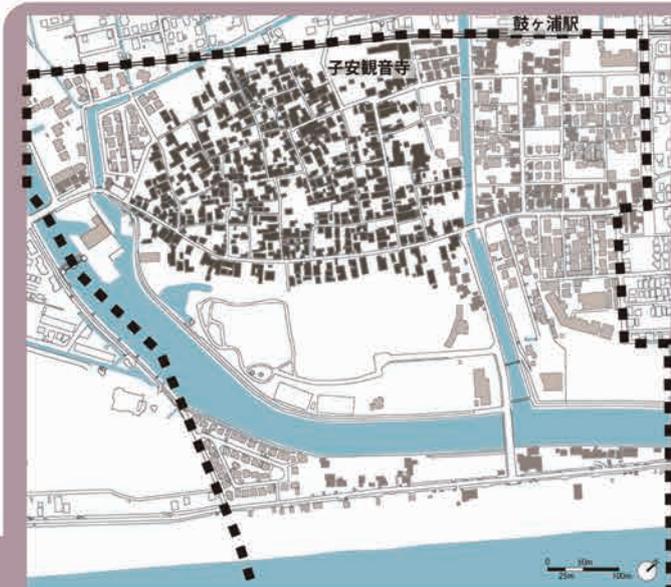


平成19年
(2007年)

養鰻場跡地が公園・住宅地として整備されました。また国道23号線沿線沿いに市街地がスプロール的に拡大しています。

200m
100m

新、平成19年発行、国土地理院)



鼓ヶ浦駅

子安観音寺

開発時期

- ~大正9年(1920年)
- 大正10年~昭和44年
- 昭和45年(1970年)~

細い路地沿いに形成された寺家のまちは江戸期に子安観音寺の門前に発達しました。大正期に設置された鼓ヶ浦駅周辺に市街地が拡大している様子が分かります。



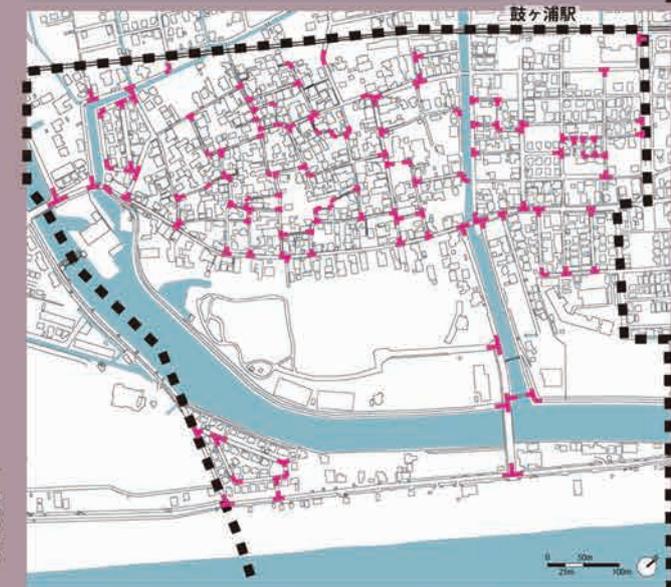

鼓ヶ浦駅

鼓ヶ浦中学校

土地の高さ

- 1m以下
- 2m以上

比較的平坦な土地ですが、寺家の古いまちは地盤が高く、鼓ヶ浦駅周辺、鼓ヶ浦中学校周辺は地盤が低いことが分かります。

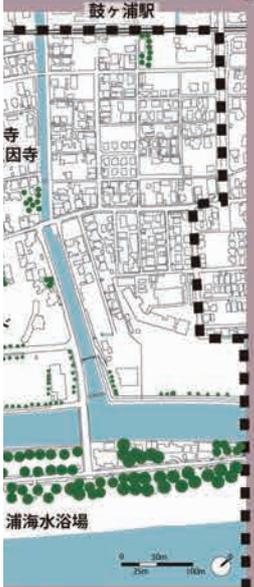


鼓ヶ浦駅

街路形態

■ L字 ■ T字

寺家の古いまちなかではL字やT字の街路形態が多く見られます。

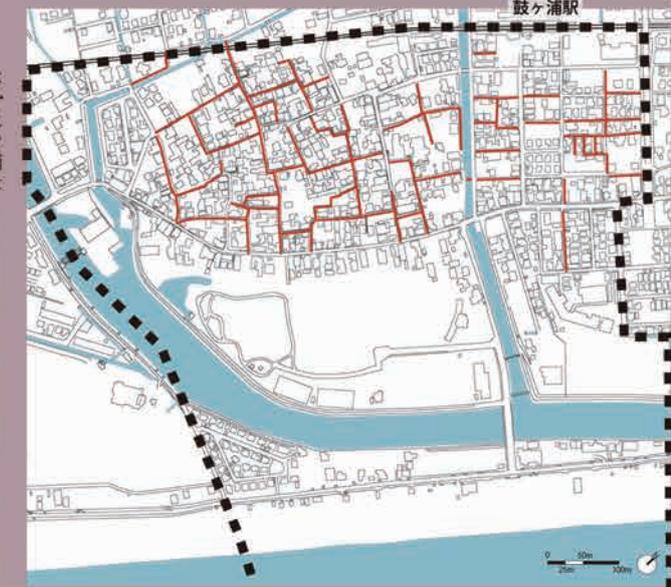
鼓ヶ浦駅

寺因寺

浦海水浴場

緑地

まちなかには緑地は少なく、子安観音寺や西方寺・正因寺境内などに見られるのみです。鼓ヶ浦サンスポーツランドや鼓ヶ浦海水浴場沿いには豊富な緑が存在します。

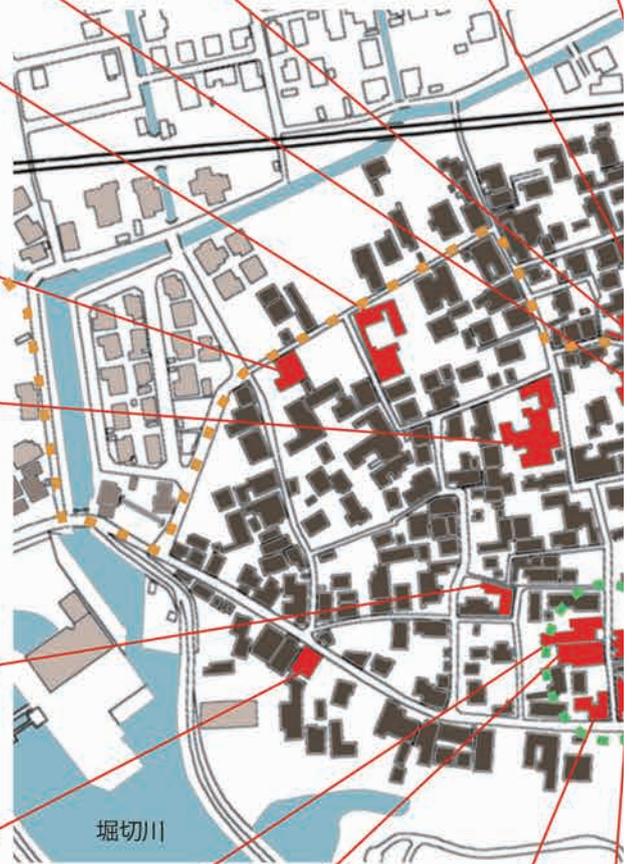
鼓ヶ浦駅

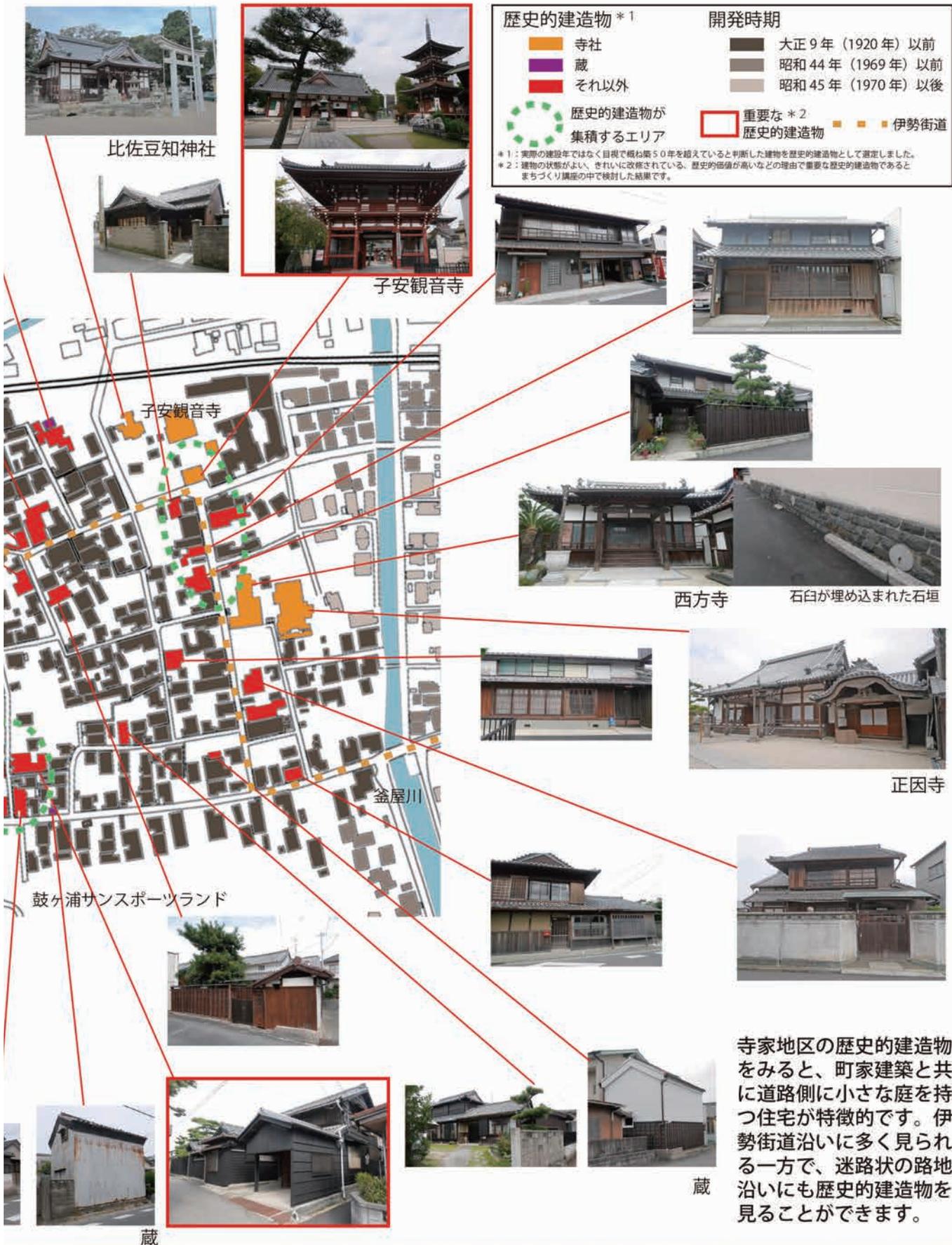
細街路
(4m未満)

寺家の古いまちなかや鼓ヶ浦駅前の古い住宅地で細街路が多く見られます。



鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ
寺家地区の景観分析





寺家地区の歴史的建造物を見ると、町家建築と共に道路側に小さな庭を持つ住宅が特徴的です。伊勢街道沿いに多く見られる一方で、迷路状の路地沿いにも歴史的建造物を見ることができます。

鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ
寺家地区の歴史的建造物マップ

歴史・文化的景観資源



参道のアイストップ*1にある子安観音寺（歴1）
*1：アイストップとは、人の視線を受け止めて注意を引くための建案や植木などのことです。



路地のアイストップにある西方寺（歴2）



格子戸のある古い建物



迷路状の路地



正因寺（歴3）



鈴鹿市伝統産業会館（歴4）



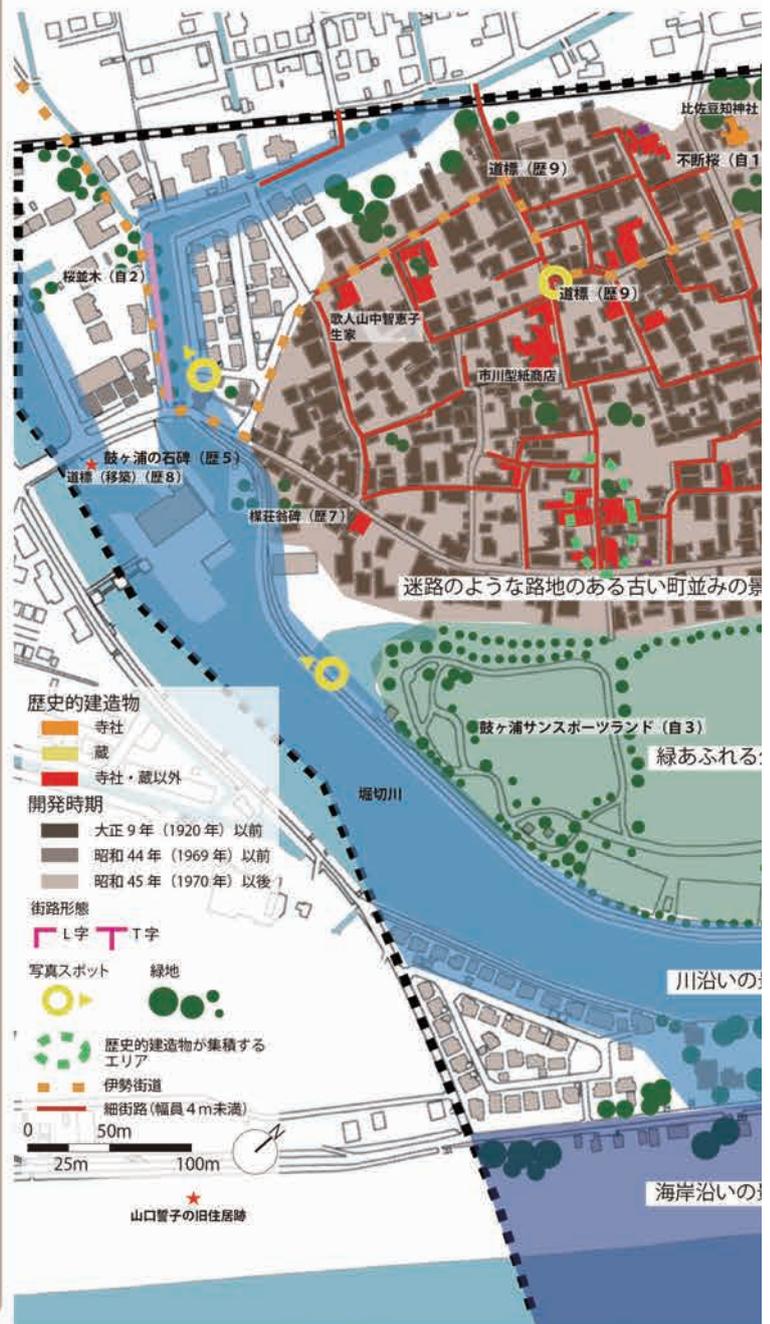
句碑・歌碑群（歴6）（海岸沿い）

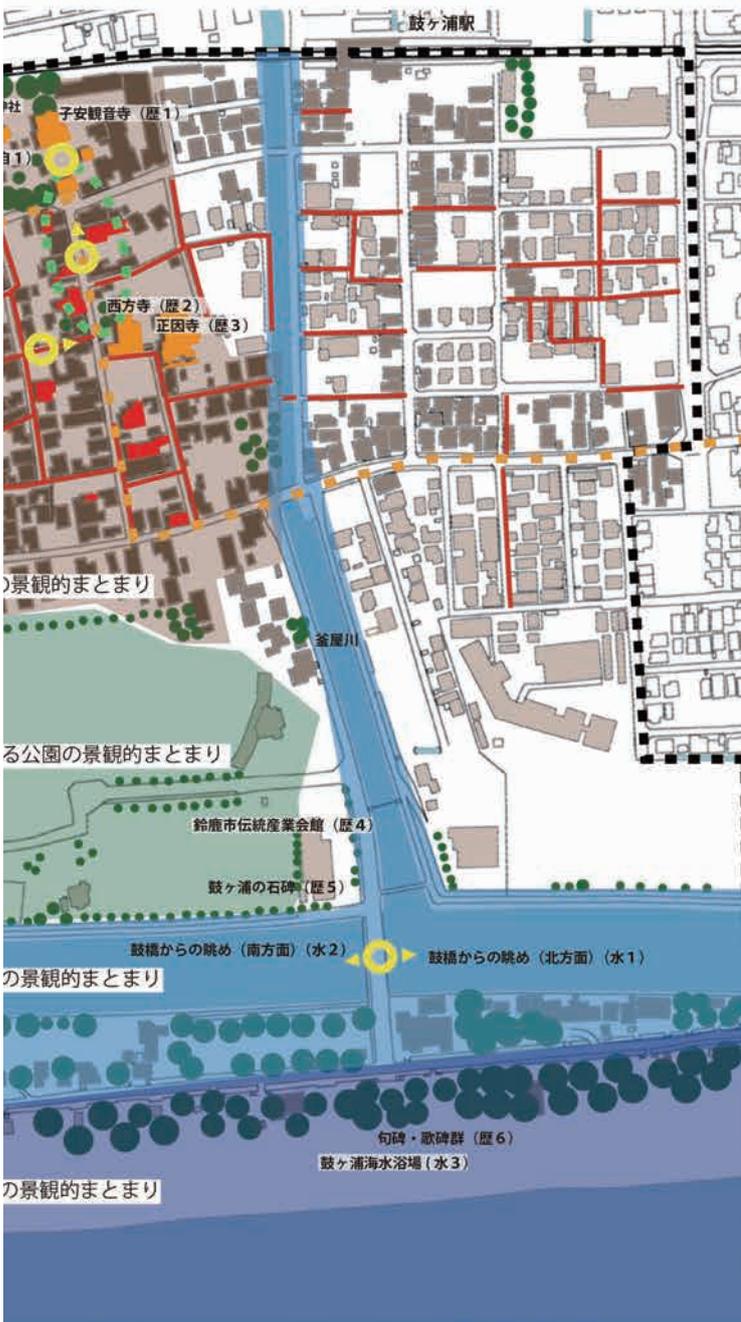


榎狂翁碑（歴7）



道標（移設）（歴8）





自然的景観資源



水辺的景観資源



鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ
寺家地区の景観資源マップ

景観まちづくりのアイデア

空き家・空き地の活用

寺家地区内の空き地や空き家を地域の資源として活用します。例えば、空き家を伊勢型紙や鈴鹿墨など地域の伝統産業を体験しながら短期の生活が出来るゲストハウスとして活用したり、空き地を緑化して散策路として整備することなどが考えられます。



海岸・川沿いの散策路整備

鼓ヶ浦海水浴場沿いや川沿いの堤防道路は自動車の交通量が多く危険です。自動車の通行を規制し、歩行者・自転車ができるように散策路として再整備します。



案内看板の設置

まちの見どころや景観資源が分かる案内地図を主要な場所に設置します。



まちの歴史の聞き取り

寺家地区の歴史をよく知っている語り部的な人に話を聞き、昔の事を聞き取り、地区のオーラルヒストリー本としてまとめます。
(オーラルヒストリーとは、語り手が個々の記憶に基づいて口述した歴史を記録としてまとめることです)



不断桜の保存

子安観音寺の境内にある国の天然記念物「不断桜」は地域の宝です。車の排ガスや根を傷めないように、不断桜の近くに駐車しないように配慮します。



景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討

1) ブロック塀の立ち並ぶ路地の場合



- ・迷路状の路地は寺家地区の特徴なので残していきたい
- ・地震時にブロック塀が倒れて避難できない可能性がある

ビフォー (現状)



- ・ブロック塀を板塀に変えていく
- ・板塀化する際には、行政の補助が求められる
- ・地権者の同意が必要

アフター (提案)

2) 子安観音寺の参道空間の場合



- ・伊勢街道でもあり、正面に子安観音寺が見え、道路沿いに歴史的建造物が建ち並ぶ寺家地区の重要な場所である
- ・景観的に電柱が邪魔である

ビフォー (現状)



- ・参道空間を景観重要公共施設に指定し、整備する
- ・電柱を地中化する

アフター (提案)

全体編集：松浦健治郎・市原享典・中島有紀子（三重大学）、発行：鈴鹿市都市整備部都市計画課、発行年：2015年3月
 鈴鹿市寺家地区の景観資源マップは、白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン 2014」の成果の一部です。

(2) 白子地区の景観資源マップ

鈴鹿市白子地区の景観資源マップ

はじめに

白子地区の景観資源マップは白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014」の中で7回に渡り実施された白子まちづくり講座により制作されました。

第1回まちづくり講座 (2014.5.15)

・昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス

第2回まちづくり講座 (2014.6.19)

・景観資源分析地図の作成、守るべき景観のリストアップ(寺家地区・白子地区・江島地区)

第3回まちづくり講座 (2014.7.23)

・まち歩き1(寺家方面)、景観資源の確認

第4回まちづくり講座 (2014.8.21)

・まち歩き2(白子方面)、景観資源の確認

第5回まちづくり講座 (2014.9.30)

・まち歩き3(江島方面)、景観資源の確認

第6回まちづくり講座 (2014.11.26)

・景観資源マップ案の発表・修正意見の検討(寺家地区・白子地区・江島地区)

第7回まちづくり講座 (2015.1.14)

・景観資源マップの発表
・景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



白子地区の位置づけ

白子地区は鈴鹿市景観類型区分図によると、面積区分の「市街地」景観類型の「海岸」、「駅前商業地」、「歴史的・文化景観資源」に位置づけられています。

景観計画区域(行政区画)	
市街化区域	——
鈴鹿市都市マスタープランに位置づけられた広域骨格軸及び都市構造上の骨格軸	——
東海道、伊勢街道

市の特性による面的区分

- 鈴鹿山脈及び山麓
- 丘陵地
- 平野部水田地
- 里山水田地
- 市街地

市の個性を彩る景観類型

- (軸)
- 河川
 - 海岸
 - 幹線道路
- (拠点)
- 緑の中心核(通称:セントラルグリーン)
 - 駅前商業地
 - 鈴鹿サーキット周辺
 - 歴史的・文化的景観資源
 - ▲ 眺望景観

(注)市の個性を彩る景観類型の内、河川、幹線道路、歴史的・文化的景観資源、眺望景観については、代表的な景観資源を表記



鈴鹿市景観類型区分図 (出典:鈴鹿市景観計画)

白子地区の景観資源

景観資源を分析するためには、地区形成の歴史を把握し、地区の構成要素を分析する必要があります。これらの分析により、白子地区には大きく5つの特徴的な景観的まとまり(古い路地や町並みが残る景観的まとまり、新しく開発された住宅地の景観的まとまり、川沿いの景観的まとまり、海岸沿いの景観的まとまり、港の景観的まとまり)が存在し、景観資源については、歴史・文化的景観資源、自然的景観資源、水辺的景観資源の3つに分けることができます。



歴史・文化的景観資源



自然的景観資源



水辺的景観資源

都市形成の歴史

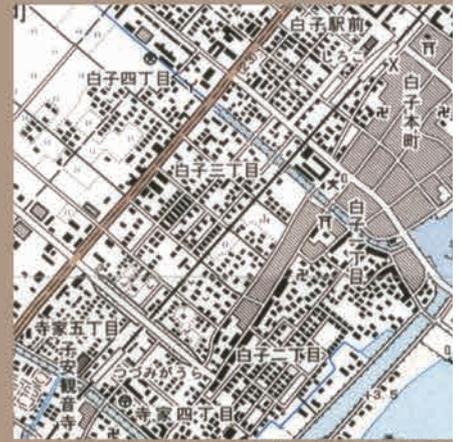


出典：1/25000地形図「白子」(明治23年測量・昭和44年改測・昭和45年発行、国土地理院)

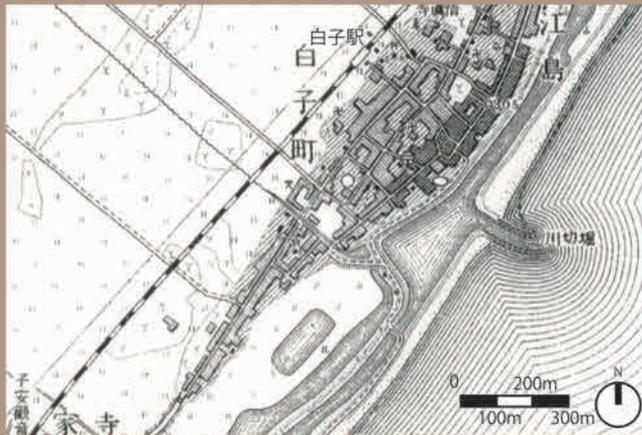


昭和44年 (1969年)

国道23号線ができ、駅の北西側の広範囲に、市街化が進んでいることが分かります。堀切川の北側にあった池が埋め立てられ水産試験場がつけられています。



出典：1/25000地形図「白子」(昭和44年改測・平成19年更新、国土地理院)



出典：1/25000地形図「白子」(大正9年測図、大正11年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)

大正9年

(1920年)

江戸期に形成されていた宅地が残っており、その近くに伊勢鉄道の白子駅が開設された事が分かります。

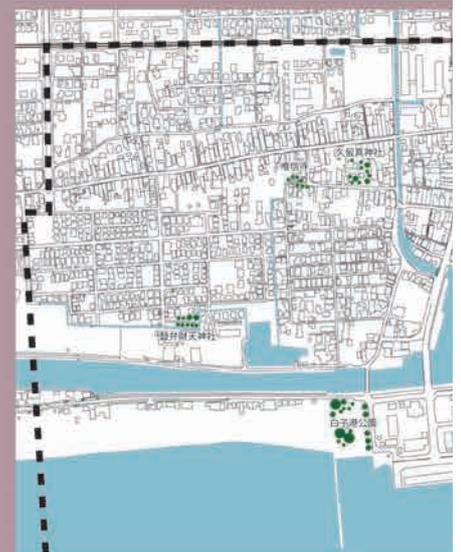
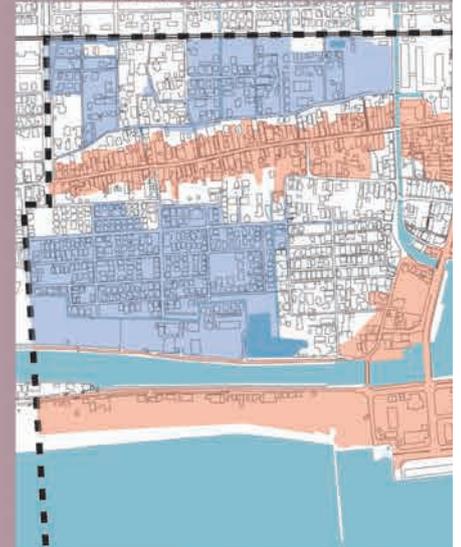


三重県白子都市計画街路決定の件(昭和17年内務省告示第681号)付図(江戸期の絵図と思われる)

江戸期

江戸期の白子は街道沿いを中心に宅地が広がり、江戸期には既に市街地が形成されていたことが分かります。

都市の構成要素毎の分析





平成19年 (2007年)

国道23号線沿いに市街化が進んでいることが分かります。水産試験場があった周辺も市街化されました。白子港の南側は埋め立てられ、水産技術センター等が立地しています。

新、平成19年発行、国土地理院



開発時期

- ~大正9年 (1920年)
- 大正10年~昭和44年
- 昭和45年 (1970年)~
- 伊勢街道

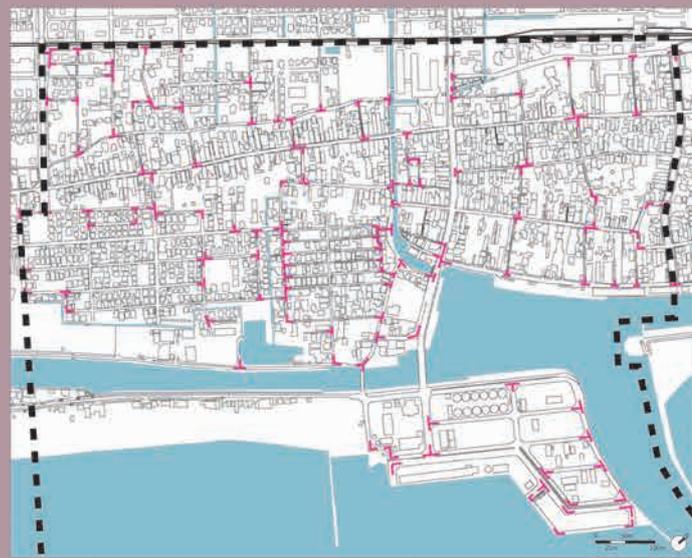
伊勢街道沿い、寺社周辺を中心に古くから開発されています。伊勢街道南側に市街地が拡大している様子が分かります。



土地の高さ

- 1m以下
- 2m以上

白子の古いまちは地盤が高く、新市街地は過去に水田であったため、土地が低いことが分かります。



街路形態

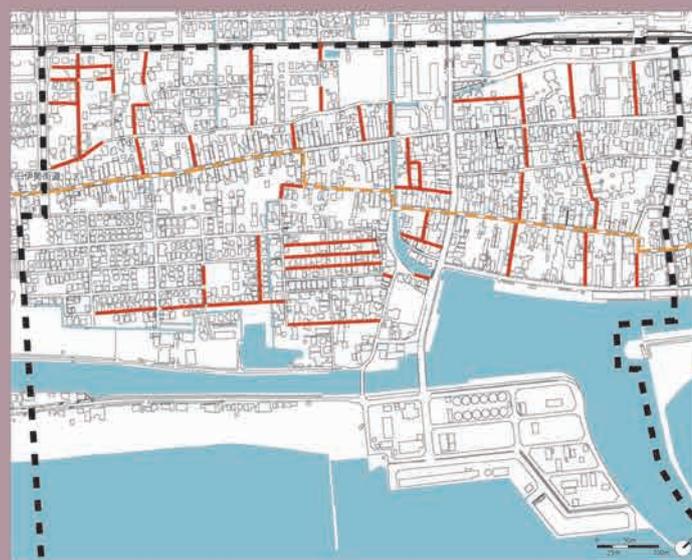
■ L字 ■ T字

T字、L字型の街路は、開発時期等によらず白子地区全体で見られますが、開発時期の古い地域では、比較的不整形なものが多くみられます。



緑地

街中には緑地が少なく、寺社や公園などで見られるのみです。



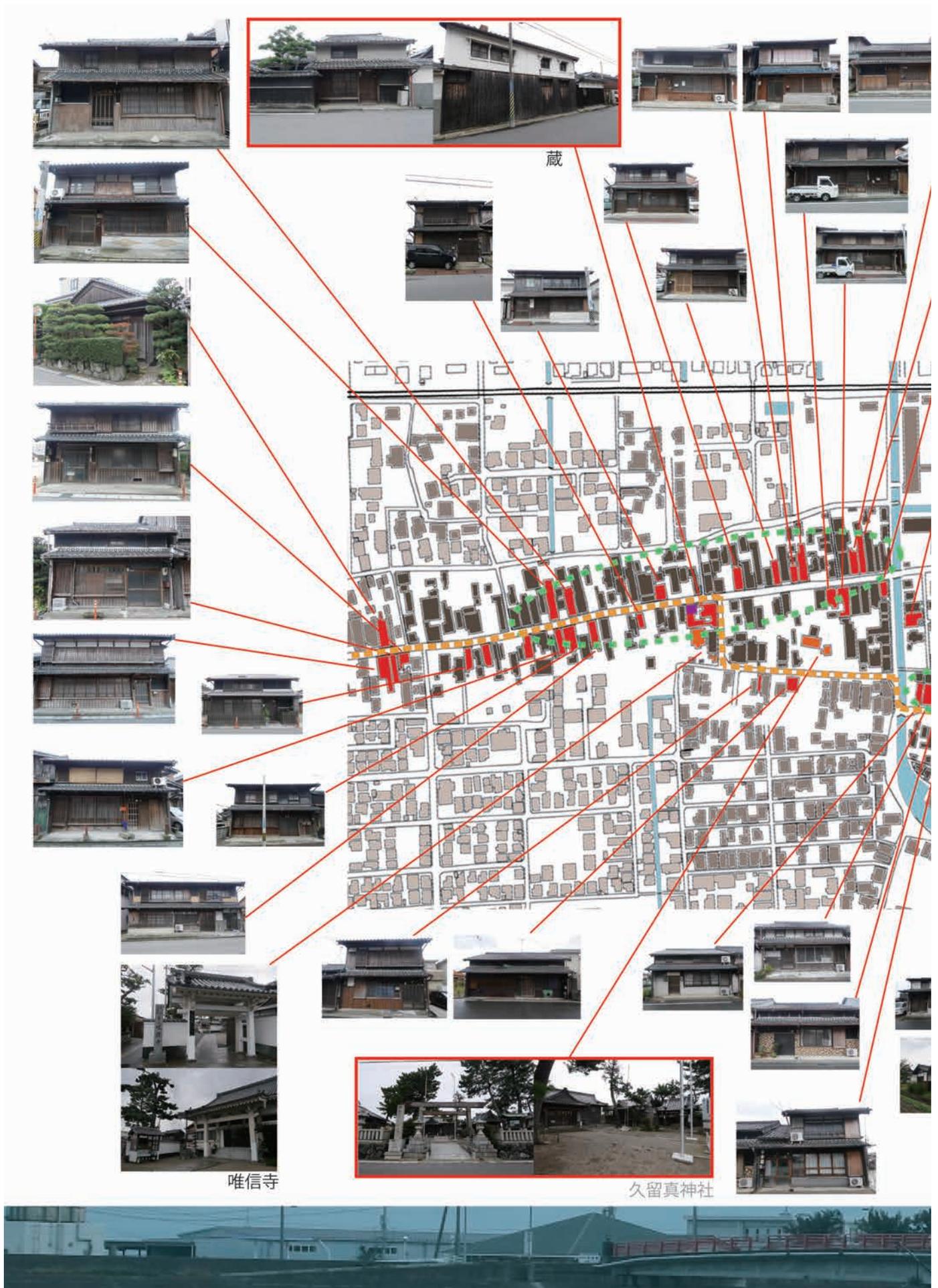
細街路 (4m未満)

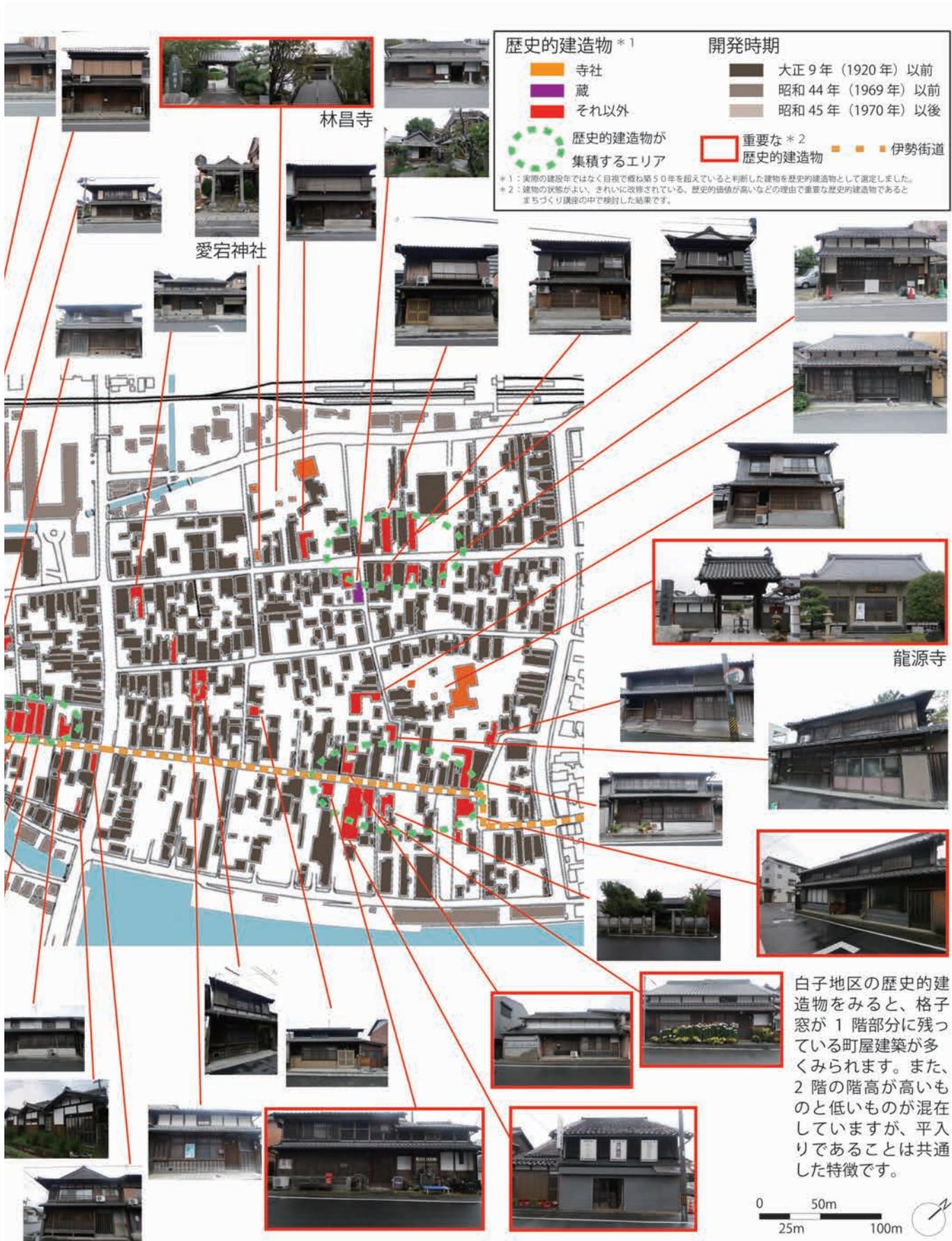
- 伊勢街道
- 路地 (幅員4m未満)

伊勢街道から東西に延びる道路や過去に農道であった道路、新しく住宅開発された際に整備された一部の道路で幅員が狭いものが見られます。



鈴鹿市白子地区の景観資源マップ
白子地区の景観分析





鈴鹿市白子地区の景観資源マップ
白子地区の歴史的建造物マップ

歴史・文化的景観資源



久留真神社周辺に残る古いまち並み (歴1)



伊勢街道に残るまち並み



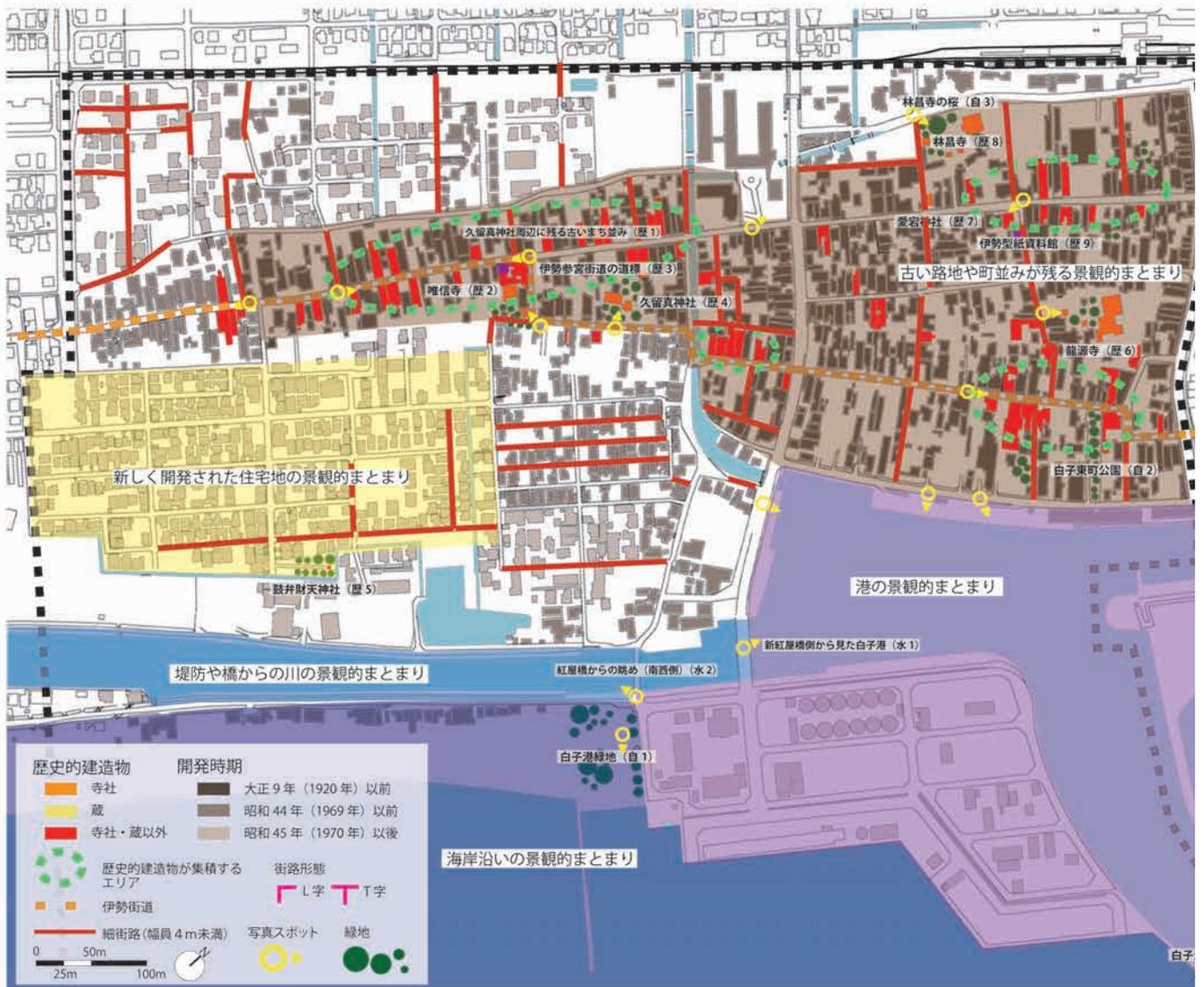
唯

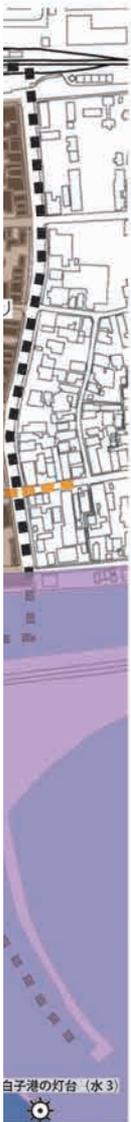


格子戸のある古い建物



伊勢参宮街道の





自然的景観資源



白子港緑地 (自 1)



白子東町公園 (自 2)



林昌寺の桜 (自 3)

水辺的景観資源



新紅屋橋側から見た白子港 (水 1)



紅屋橋からの眺め (南西側) (水 2)



鈴鹿元気はなび大会



白子港の灯台 (水 3)



小女子干しの風景



景観まちづくりのアイデア

空き家の活用と撤去

白子地区内の空き家を地域の資源として活用します。例えば、伊勢型紙や鈴鹿墨などの地域の伝統産業を体験しながら短期の生活ができるゲストハウスとしての活用が考えられます。一方、空き家の中には老朽化が進み、改修・活用困難なものがあり、撤去を考える必要もあります。



重要建造物の保存

白子地区には、伊勢型紙資料館や横田語らい館など白子地区の景観を構成する重要な建造物があります。そのような建造物に景観重要建造物の指定をすることで今ある景観を残していくことが考えられます。



伊勢街道の整備

白子地区を南北に通る伊勢街道を整備し、景観の魅力を引き出します。例えば、街道をカラー舗装し、街道沿いに統一されたデザインの街灯を設けることが考えられます。街道が整備されることによって地域の人を始め、多くの方が白子地区の景観に気付くきっかけになると考えられます。



まちづくり組織の設立

まちづくりを考えていくためには地域の人々がまとまる必要があります。自治会・町内会などの垣根を越えたまちづくり組織の設立が必要と考えられます。



景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討

1) 白子駅東側の商店街の場合



ビフォー（現状）

- ・昔は栄えていた商店街も今はシャッター街になっている
- ・家から近い位置に商店がなくなってしまう困っている人もいる



アフター（提案）

- ・小さなスーパーとして再利用する
- ・店主や地権者の同意が必要

2) 街道沿いにある駐車場の場合



ビフォー（現状）

- ・歴史的建造物が建ち並ぶ場所である
- ・町並みの連続性が駐車場などによって途切れている



アフター（提案）

- ・駐車場の前に開閉式の格子戸を設け、町並みの連続性を保つ
- ・地域住民や新規入居者の協力が必要
- ・格子戸の設置をデザインガイドラインとして地域のルールにする

全体編集：松浦健治郎・市原享典・中島有紀子（三重大学）、発行：鈴鹿市都市整備部都市計画課、発行年：2015年3月
鈴鹿市白子地区の景観資源マップは、白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン 2014」の成果の一部です。

(3) 江島地区の景観資源マップ

鈴鹿市江島地区の景観資源マップ

はじめに

江島地区の景観資源マップは白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014」の中で7回に渡り実施された白子まちづくり講座により制作されました。

第1回まちづくり講座 (2014.5.15)

・昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス

第2回まちづくり講座 (2014.6.19)

・景観資源分析地区の作成、守るべき景観のリストアップ(寺家地区・白子地区・江島地区)

第3回まちづくり講座 (2014.7.23)

・まち歩き1(寺家方面)、景観資源の確認

第4回まちづくり講座 (2014.8.21)

・まち歩き2(白子方面)、景観資源の確認

第5回まちづくり講座 (2014.9.30)

・まち歩き3(江島方面)、景観資源の確認

第6回まちづくり講座 (2014.11.26)

・景観資源マップ案の発表・修正意見の検討(寺家地区・白子地区・江島地区)

第7回まちづくり講座 (2015.1.14)

・景観資源マップの発表
・景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



江島地区の位置づけ

江島地区は鈴鹿市景観類型区分図によると、面的区分の「市街地」、景観類型の「海岸」「歴史的・文化的景観資源」に位置づけられています。

景観計画区域(行政区域)	
市街化区域	
鈴鹿市都市マスタープランに位置づけられた広域骨格軸及び都市構造上の骨格軸	整備済
東海道、伊勢街道	整備予定

市の特性による面的区分	
鈴鹿山脈及び山麓	
丘陵地	
平野部水田地	
里山水田地	
市街地	

市の個性を彩る景観類型	
〈軸〉	河川
	海岸
	幹線道路
〈拠点〉	緑の中心核(通称:セントラルグリーン)
	駅前商業地
	鈴鹿サーキット周辺
	歴史的・文化的景観資源
	眺望景観

(注)市の個性を彩る景観類型の内、河川、幹線道路、歴史的・文化的景観資源、眺望景観については、代表的な景観資源を表記



江島地区
鈴鹿市景観類型区分図 (出典:鈴鹿市景観計画)

江島地区の景観資源

景観資源を分析するためには、地区形成の歴史を把握し、地区の構成要素を分析する必要があります。これらの分析により、江島地区には大きく4つの特徴的な景観的まとまり(迷路のような古い町並みの景観的まとまり、寺社が集まる景観的まとまり、緑豊かな景観的まとまり、海岸沿いの景観的まとまり)が存在し、景観資源については、歴史・文化的景観資源、自然的景観資源、水辺の景観資源の3つに分けることができます。



歴史・文化的景観資源

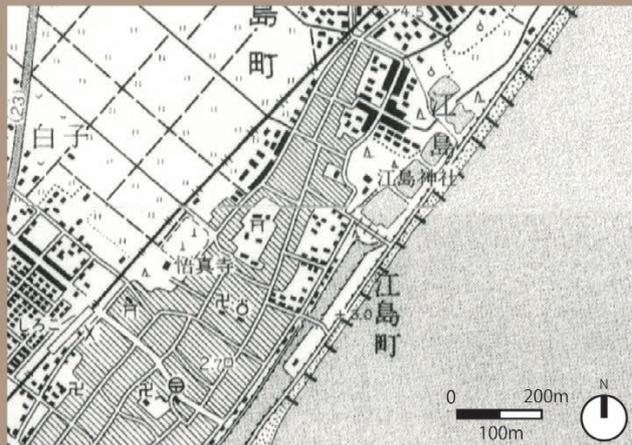


自然的景観資源



水辺の景観資源

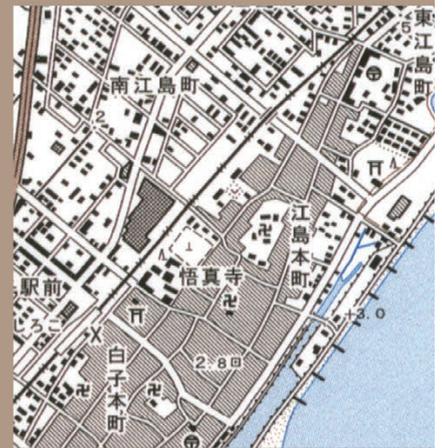
都市形成の歴史



出典：1/25000地形図「白子」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和45年発行、国土地理院)
1/25000地形図「神戸」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和46年発行、国土地理院)

昭和44年
(1969年)

昭和になると、海岸沿いの護岸整備が行われ、堤防、橋、江島若宮八幡神社に隣接する緑地などが設けられました。また、江島若宮八幡神社の北側に市街地が拡大している様子が分かります。



出典：1/25000地形図「白子」(昭和44年改測・平成19年更新、平成19年発行、国土地理院)
1/25000地形図「鶴鹿」(昭和55年改測・平成19年更新、平成19年発行、国土地理院)



出典：1/25000地形図「白子」(大正9年測図、大正11年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)
1/25000地形図「神戸」(大正9年測図、大正13年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)

大正9年
(1920年)

江島のまちは、鉄道・街道・海岸の3つの軸線に規定され、南北方向に細長く市街地が形成されていることが分かります。

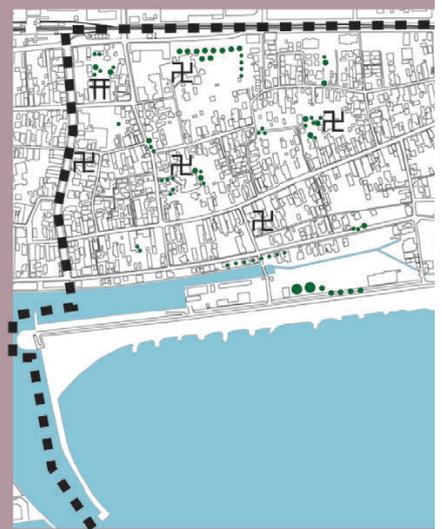
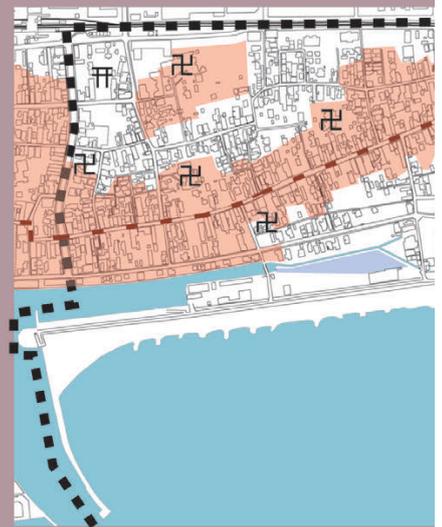


三重県白子都市計画街路決定の件(昭和17年内務省告示第681号)付図(江戸期の絵図と思われる)

江戸期

江戸期の江島は隣町する白子と共に伊勢街道に沿ってまちが形成され地理的にも経済的にも共に発展しましたが、白子は紀州藩、江島は旗本・小笠原藩領であり、統治は別でした。

都市の構成要素毎の分析





**平成19年
(2007年)**

平成になると、海沿いの道路や江島若宮八幡神社の南の道路が整備されました。また、鉄道の西側に市街地が拡大しています。

0 100m 200m N

地理院
地図院

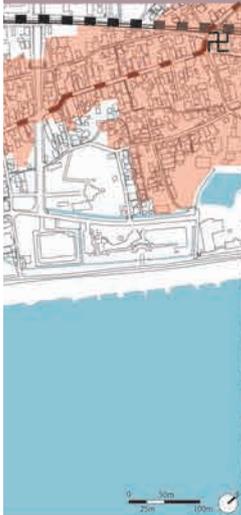


開発時期

- ～大正9年(1920年)
- 大正10年～昭和44年
- 昭和45年(1970年)～

伊勢街道

伊勢街道沿いに形成された江島のまちは大正期から徐々に広がり、海岸沿いの田畑が市街地化している様子が分かります。

土地の高さ

- 1m以下
- 2m以上

伊勢街道

寺社や伊勢街道沿いの地盤が高いことが分かります。

0 25m 50m 100m



街路形態

- L字 T字

江島のまちはL字やT字の街路形態が多く見られます。



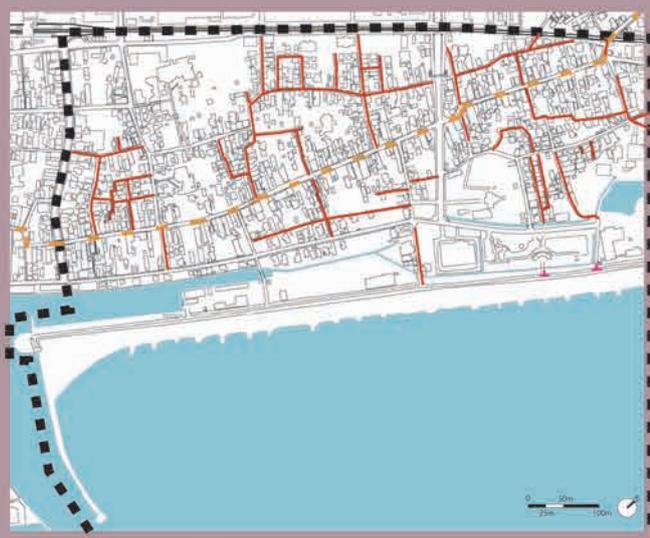

緑地

まちなかの緑地には藩の境界の榎や松並木など歴史的に重要な緑が残されています。また、橋横寺や江島若宮八幡神社などの寺社の境内や江島公園にも緑地が保全されています。

江島公園



0 25m 50m 100m



**細街路
(幅員4m未満)**

- 伊勢街道
- 細街路

江島の古いまちなかでは伊勢街道から伸びる細街路が多く見られます。



鈴鹿市江島地区の景観資源マップ
江島地区の景観分析



悟慎寺



勝速日神社



元三大師



青龍寺





鈴鹿市江島地区の景観資源マップ

江島地区の歴史的建造物マップ

歴史・文化的景観資源



ノコギリ型をした伊勢街道の歴史的な町並み



生垣と樹木で導かれる悟慎寺 (歴1)



油屋忠兵衛伊達家 (歴2)



入り組んだ路地



常夜燈 (歴3)



元三大師 (歴4)



景観を意識した建物



山の神の祠 (歴7)



鏡絵 (歴5)



勝速日神社 (歴6)



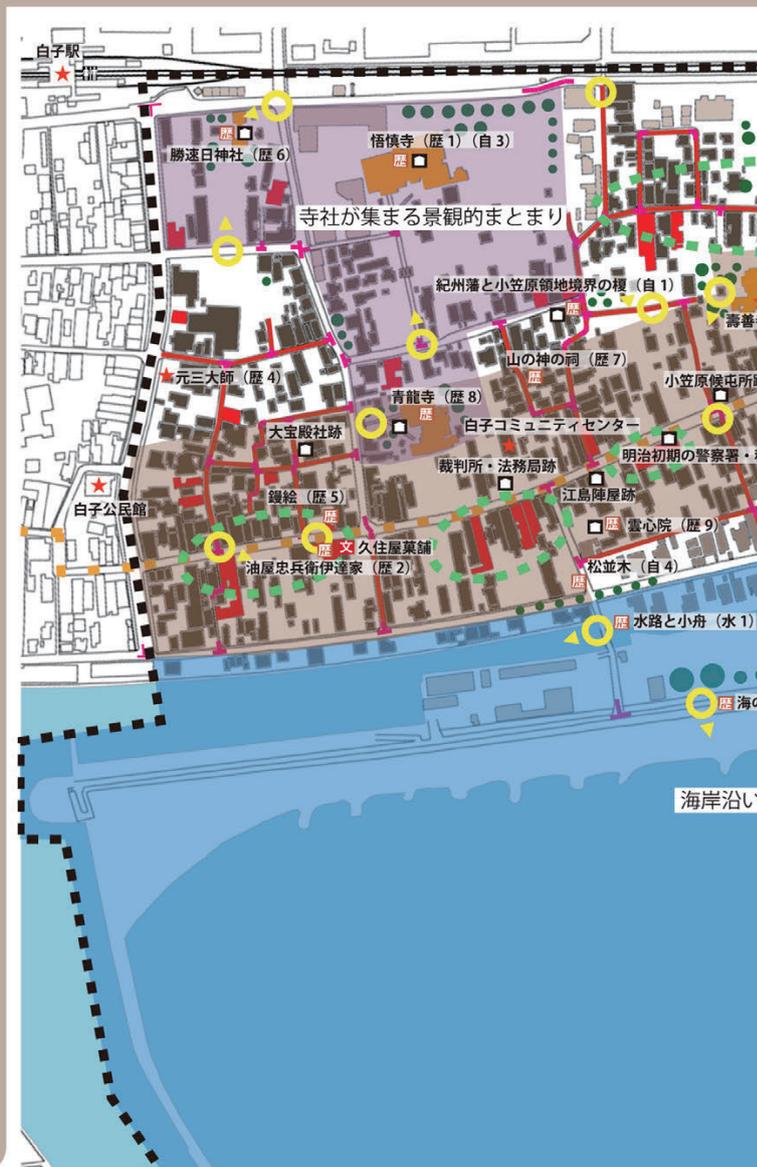
青龍寺 (歴8)



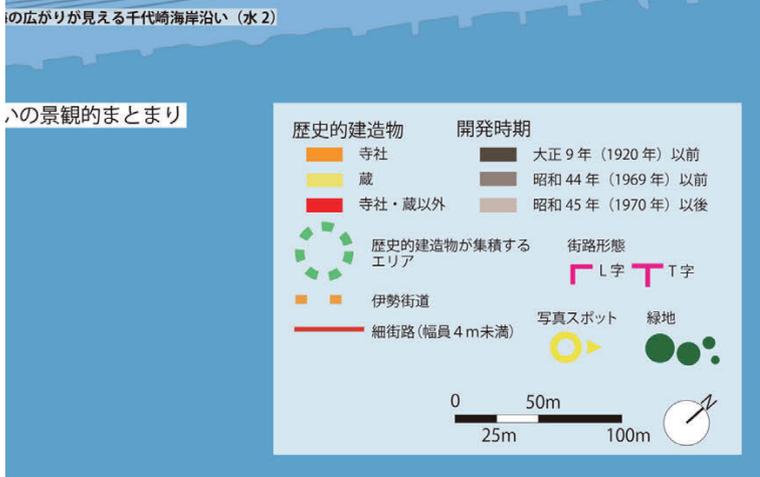
春の例大祭 (撮影:板尾富司)



雲心院 (歴9)



海岸沿い



自然的景観資源



水辺的景観資源



鈴鹿市江島地区の景観資源マップ
江島地区の景観資源マップ

景観まちづくりのアイデア

小学校区を越えた活動

江島地区は白子と愛宕という2つの小学校区に分かれており、コミュニティ活動が各小学校別に行われています。そのため、江島地区としての一体感がなくなっています。2つの小学校区の連携を強めることが重要であり、校区を越えた江島地区全体でのまちづくりの活動を進めていきます。



白子地区との協力

白子地区と江島地区は、異なる文化を持ちつつも伊勢街道沿いに一体的な町並みを形成してきた歴史があります。そこで2つの地区が協力し、住民主体のまちづくり活動を進めていきます。



歴史を伝える樹木の保全

紀州藩と小笠原領地境界の榎や松並木など、江島地区の歴史を伝える貴重な樹木が失われるために、これらを景観重要樹木として指定することで、将来にわたって保全することが可能になります。



江島海岸の清掃活動

江島海岸では定期的な清掃活動が行われておらず、打ち上げられたゴミが散見されます。管理者へ清掃の要請を出しつつ、市民有志で江島海岸の清掃をしていきます。



賑わいを利用

朝市や祭りなどの人々が集まる行事で、江島地区のまちづくり活動を紹介することで活動の輪を広げていきます。



景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討

1) 松並木のある道路の場合



- ビフォー (現状)**
- ・江島地区の象徴的な緑である松並木は歴史的にも重要である
 - ・道路幅や天災で本数が減ってきた
 - ・松が歩道上にあるため、歩きにくい



- アフター (提案)**
- ・松並木を景観重要樹木に指定して保存する
 - ・松並木を延長して松の植栽をする
 - ・松並木沿いの歩行者空間の整備をする

2) 江島海岸の砂浜の場合



- ビフォー (現状)**
- ・江島海岸の砂浜は消波ブロックがあるため、散歩する人は少ない
 - ・砂浜の消波ブロック上に一定間隔で打ち上げられたゴミが自立つ



- アフター (提案)**
- ・管理者に清掃の要望を申請する
 - ・範囲を決めて市民有志で清掃活動を行う
 - ・ゴミ回収の面で市の協力が必要となる

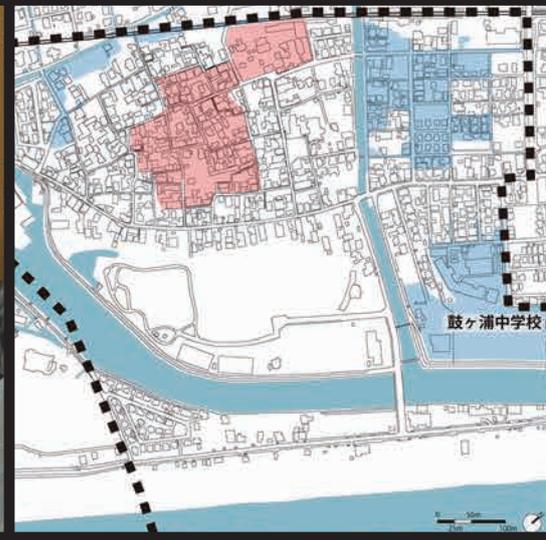
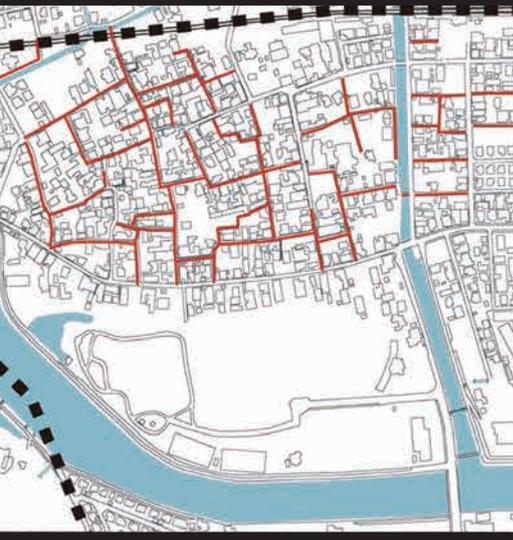
全体編集：松浦健治郎・市原享典・中島有紀子（三重大学）、発行：鈴鹿市都市整備部都市計画課、発行年：2015年3月
鈴鹿市江島地区の景観資源マップは、白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン 2014」の成果の一部です。

白子公民館・三重大学都市計画研究室共同研究
「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン 2014」
報告書

2015年3月27日発行

編集・製作・印刷 三重大学大学院工学研究科建築学専攻 都市計画研究室
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
TEL：059-231-9477（直通）

製本 合資会社 黒川印刷
〒514-0008 三重県津市上浜町 2- 1 1
TEL：059-226-4877



桜並木のある川沿い

